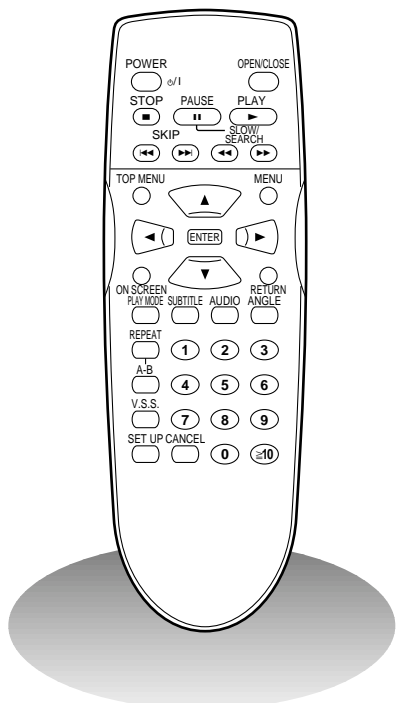
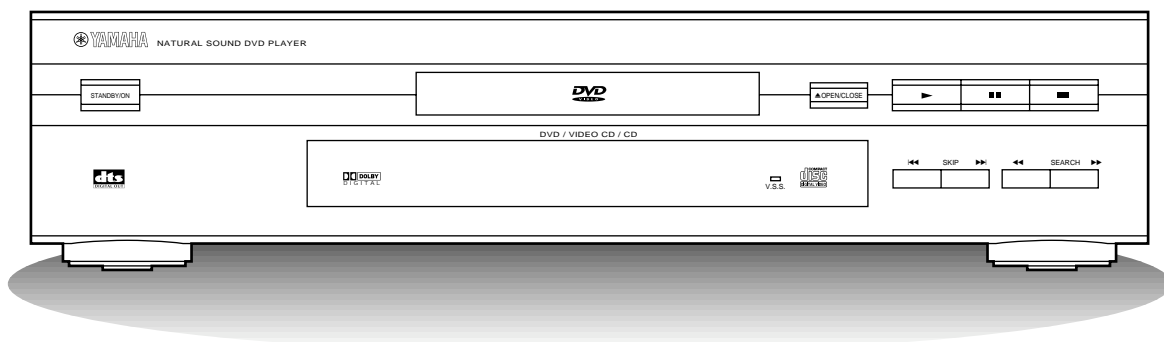




NATURAL SOUND DVD PLAYER

DVD-S796

取扱説明書



このたびはヤマハDVDプレーヤーDVD-S796をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

DVD-S796の優れた性能を十分に発揮させるとともに、永年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずご使用の前にお読みください。

また、お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

本機は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。



ご使用前に必ずお読みください。

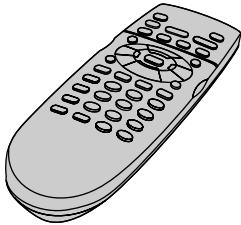
付属品の確認



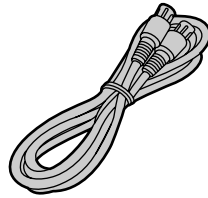
必ず確かめてください。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

リモコン (1 個)

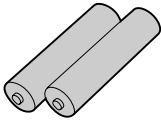


S 映像コード (1 本)

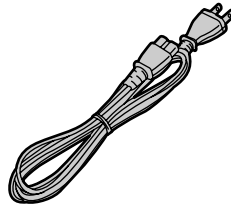


乾電池 (2 本)

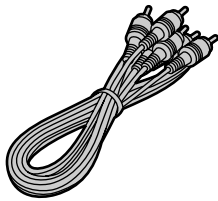
単 3 形 (R6P)



電源コード (1 本)



音声 / 映像コード (1 本)



著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。
著作権 1992 - 1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

もくじ

はじめに
お読みください

まず
準備しよう

すぐ
使ってみる

もっと
使いこなす

もし
必要なとき

付属品の確認 / 著作権について	2
安全上のご注意	4
ご使用前に	6
取扱いとお手入れ / リモコンの準備	7

アンプと接続する	8
AVアンプ(デコーダー内蔵)との接続	9
オーディオアンプ(2ch音声入力端子付)との接続	10
デジタル端子付オーディオアンプ(デコーダーなし)との接続	11
テレビと接続する	12

再生してみよう

一時停止(静止) コマ送り/コマ戻し 場面や曲を飛びこす(スキップ)	
早送り/早戻し スロー再生	16
止めた位置から再生 ビデオCDのメニュー画面を使わずに再生	17

便利な機能

字幕言語切り換え / 字幕「切」「入」	18
音声切り換え アングル切り換え カラオケソフトのボーカル切り換え	19
バーチャルサラウンドサウンド	20
メニューを使って再生 セリフの音量をあげる(シネマラウドネスモード)	21
繰り返し再生(リピート再生)	22
好みの場所を繰り返し再生(A-Bリピート再生) 順不同に再生(ランダム再生)	23
好みの順に再生(プログラム再生)	24

絵表示(GUI画面)を見ながら操作する

操作方法	25
ディスクの情報画面 シャトル画面	26
本機の情報画面	27

設定を変える

共通手順	28
ディスク言語	29
視聴制限 画面メニュー言語	30
オンスクリーン(画面表示の設定) FLディマー(表示窓の明るさ設定)	
接続するテレビ	31
デジタル出力の設定	32
エキスパート設定(特殊な設定)	34

初期設定一覧表

画面に映し出される映像の横縦比	37
-----------------------	----

各部のなまえ

本体 リモコン	38
表示窓	39

電話する前にお確かめください

故障かな!?

用語解説	42
------------	----

仕様	43
----------	----

ヤマハホットラインサービスネットワーク	裏表紙
---------------------------	-----

準備

使いかた

ご参考

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。	 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
		 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

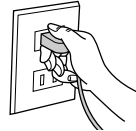
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

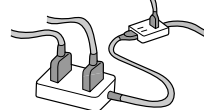
コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



ショートや発熱により火災や感電の原因になります。

機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

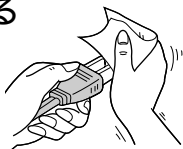
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

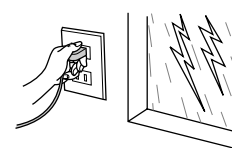
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない



接触禁止



感電の恐れがあります。

もし異常が起きたら

以下のようなときは電源プラグを抜く



機器内部に金属や水、異物が入ったとき煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

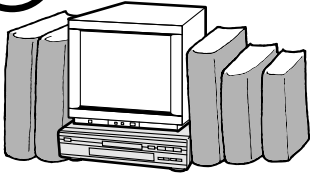
電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

以下のことを守り正しく設置する

不安定な場所に置かない
上に大きなもの、重いものを載せない
高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多い場所に置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する

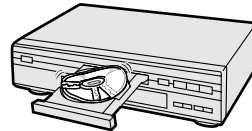


指に注意



閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。特にお子様にはご注意ください。

ひび割れや変形、修復したディスクは使用しない



機器内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

乾電池について

以下のことを守り正しく取り扱う



⊕や⊖は正しく入れる。
新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない。
乾電池は充電しない。
加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない。
長期間使用しないときは、取り出しておく。
ネックレスなどの金属物といっしょにしない。
被覆のはがれた電池は使用しない。

乾電池の代用として充電式電池ニッケルカドミウム(Ni-Cd など)は使わない。
取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
万一液もれが起これたら、販売店にご相談ください。
液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

持ち運びについて




コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ご使用の前に

再生できるディスク

再生できるディスクとマーク（ロゴ）		
DVD-Video 	ビデオ CD 	音楽 CD 

DTS CD も再生できます

さらにリージョン番号の制約があります



などのディスク

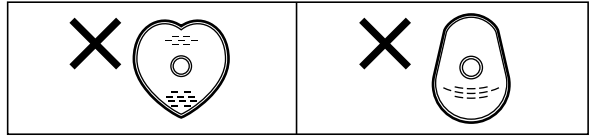
リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD のソフトとプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は「2」です。
本機は、「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。

再生できないディスク

CD-R、フォト CD（絶対に再生しないでください。ディスクの内容が壊れる恐れがあります。）
リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD
PAL 方式で記録された DVD / ビデオ CD
DVD-ROM DVD-R DVD-RAM
DVD-Audio DVD+RW DVD-RW
CD-ROM CD-RW CDV
CD-G CVD VSD
SVCD SACD

など

また、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります。）



お知らせ

DVD、ビデオ CD のなかには、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなども合わせてご参照ください。

例： 頭出しのためスキップボタンを押しても、

“\$”（禁止）マークが表示される。

インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール機能付ビデオ CD のメニュー再生中には、続き再生メモリー機能やリピート再生等が働かない。カラオケソフトのメニュー再生後、メニュー画面に戻らず連続再生される。（プレイバックコントロール機能付ビデオ CD）

お願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことを守りください。

鉛筆やボールペンなどで字を書かない。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。

紙やシールを貼らない。

シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。

ジャケットに表示されているマークについて

音声数 字幕数 アングル数



（数字は記録されている音声 / 字幕 / アングルの数を示します。）

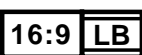
画面サイズ（横：縦）



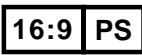
・ 4 : 3 の標準サイズ



・ レターボックス
（ 4 : 3 で上下に黒帯が入っている画面）



・ 16 : 9 のワイドサイズ
画面サイズが 4 : 3 のテレビではレターボックスで再生される。



・ 16 : 9 のワイドサイズ
画面サイズが 4 : 3 のテレビではパン & スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生される。

テレビに映し出される映像は、テレビの画面モード（○ 37 ページ）によっても異なります。

本書の表記について

14 ~ 27 ページでは、次の記号を使用しています。（DVD-Video を「DVD」、音楽 CD を「CD」と表記しています。）

DVD ... DVD で楽しめる機能を紹介しています。

VCD ... ビデオ CD で楽しめる機能を紹介しています。

CD ... CD で楽しめる機能を紹介しています。

「デコーダー」とのみ表記しているところは、以下のいずれかを表します。

Dolby Digital デコーダー

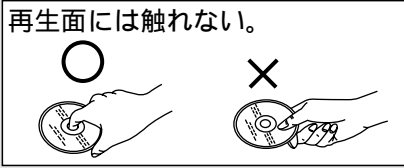
DTS Digital Surround デコーダー

取扱いとお手入れ

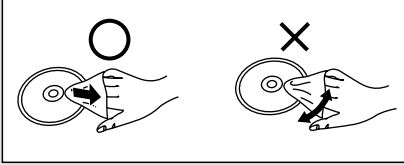
リモコンの準備

ディスク編

持ちかた



汚れたときは水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



露が付いたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

保管しておくときは

次のような場所は避けてください。

- ・ 直射日光の当たるところ
- ・ 湿気やホコリの多いところ
- ・ 暖房器具の熱が直接当たるところ

本機編

使用するとき

- ・ 揮発性の殺虫剤などがかからないようにしてください。(キャビネットの変形や塗装がはげる恐れがあります。)
- ・ 本機は日本国内専用です。海外では、放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。

移動するとき

次のことをお守りください。

- ・ ディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す。
- ・ 引っ越しなどのときは、購入時のパッキングケースに入れる。
- ・ 落としたり、ぶつかけたりしない。

汚れたときは

次のことをお守りください。

- ・ 電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ 汚れは柔らかい布で軽くふき取る。
[汚れがひどいときは、布を水でうすめた台所用洗剤(中性)にひたし、よくしぼってからふく。]

ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。

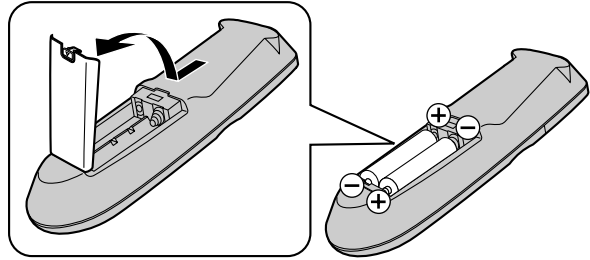


お知らせ

使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。

誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

乾電池(付属)を入れる



注意

⊕と⊖を確認し、正しく入れる。

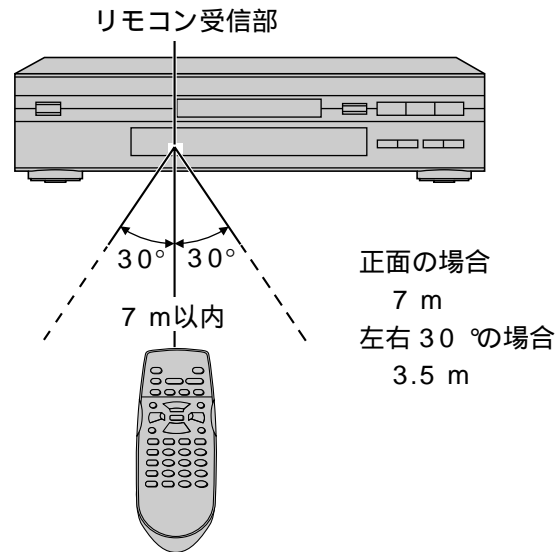
液もれが起こったときは、リモコンに付いた液をよくふき取ってから、新しい乾電池を入れる。

お願い

乾電池の寿命は約1年です。リモコンを使用範囲内で操作しても働かないときは、乾電池を交換してください。

乾電池は単3形(R6P)を使ってください。新旧・異種の乾電池を混用しないでください。

リモコンの使用範囲



お願い

落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしない。(部品が壊れたりして、故障の原因になります。)

リモコンは使用範囲内で使う。

リモコン受信部に強い光を当てない。

リモコン受信部との間に物を置かない。

他の機器のリモコンと同時に使わない。

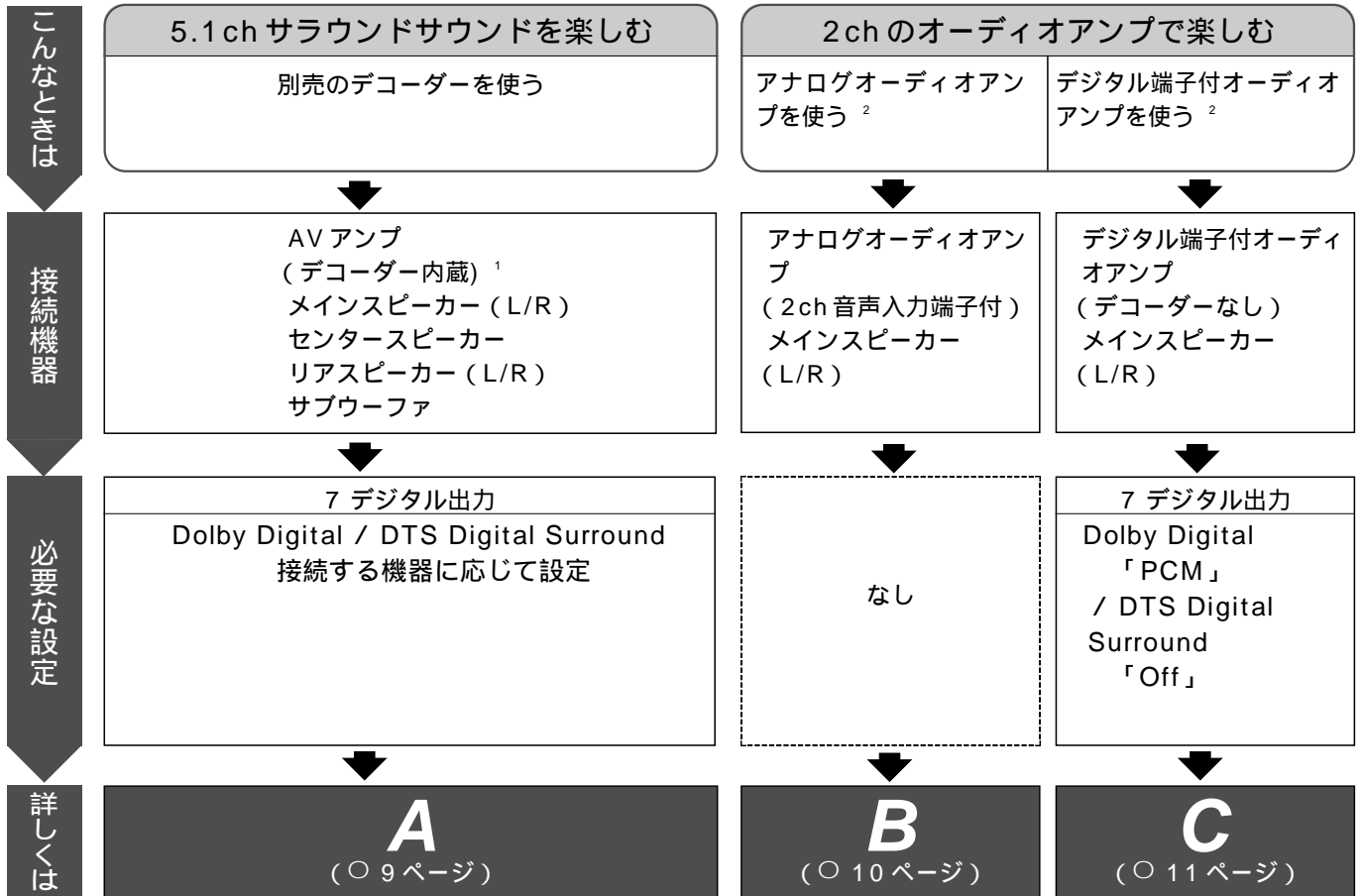
ガラス扉のついたラックなどの中に入れておくと、ガラスの色や濃さによりリモコンの使用範囲が短くなる場合があります。

準備

アンプと接続する

高音質を楽しむ（オーディオアンプのシステムアップ）

以下の表を参考に、必要な接続や設定を行ってください。（接続機器は一例です。）



2ch、5.1ch 以外にも、3～5本のスピーカーを接続することができます。（接続方法 ○ 9 ページ）

¹ デコーダーと AV アンプ(デコーダーなし)を組み合わせることもできます。

² ドルビープロロジックデコーダーに接続する場合は、B または C の接続例に加えて、センタースピーカー、リアスピーカーが別途必要となります。（詳しくは、それぞれの機器の説明書をご参照ください。）

お願い

メインスピーカー (L/R) 以外のスピーカーを接続した場合（ドルビープロロジックデコーダーに接続した場合も含む）V.S.S.機能を「切」(OFF)にしてください。（○ 20 ページ「バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ」）
 「レベル1」または「レベル2」にすると、メインスピーカー (L/R) 以外のスピーカーから音が出なくなります。（本機背面の AUDIO OUT/SUBWOOFER 端子にサブウーファを接続しているときは、メインスピーカー (L/R) とサブウーファから音声が出力されます。）

A または C の接続をした場合、「デジタル出力」(○ 32 ページ)の「PCM ダウンサンプリング変換」を「しない」に設定すると、リニア PCM 96 kHz で記録された DVD を再生したときに、音声が出力されません。ただし著作権の保護がされていないディスクの場合はそのまま出力されます。

リニア PCM 96 kHz で記録されたディスクを再生するときは、B の接続をし、「PCM ダウンサンプリング変換」を「しない」に設定してください。

お知らせ

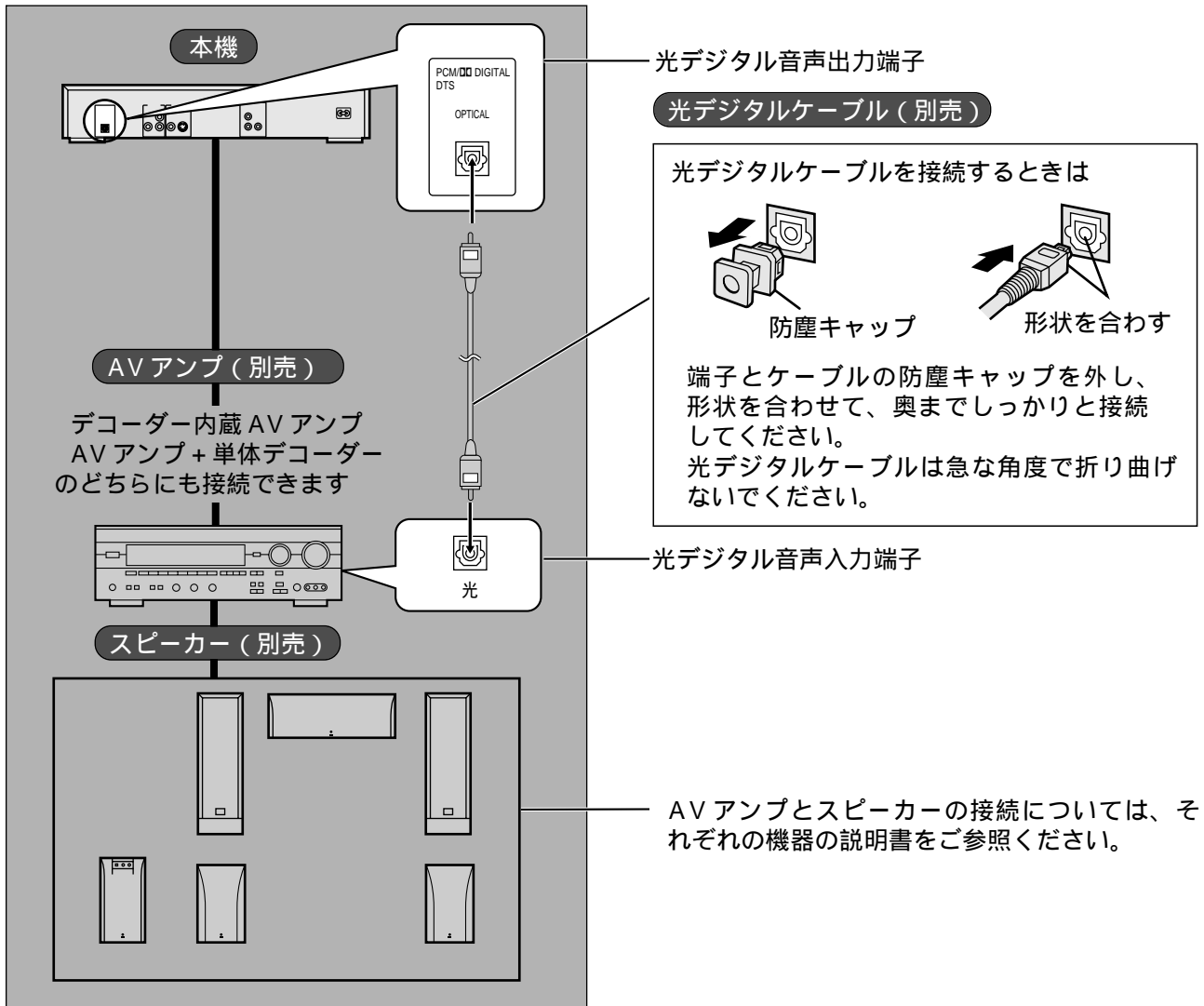
DVD に対応していない DTS Digital Surround デコーダーは使用できません。

A AVアンプ（デコーダー内蔵）との接続

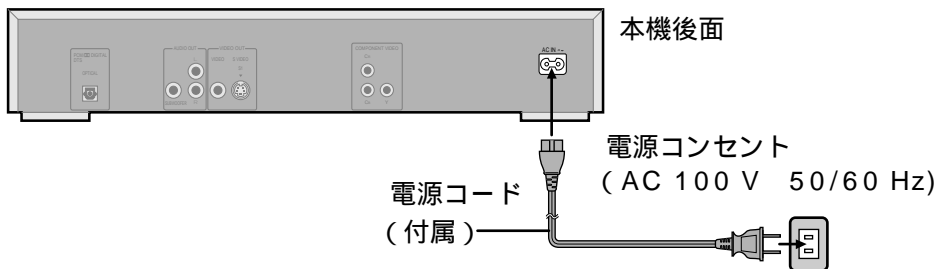
別売のAVアンプ（デコーダー内蔵）または、デコーダー+AVアンプ（デコーダーなし）のデジタル音声入力端子に接続し、マルチチャンネルのドルビーデジタルで記録されたDVDを再生すると、映画館やホールにいるような臨場感と迫力ある音声をご家庭で楽しめます。

接続する前に

本機および接続する機器の電源を「切」にしてください。
接続する機器の説明書もよくお読みください。



電源コードの接続



接続が完了した後、「7 デジタル出力」(○ 32 ページ)を接続した機器側のデコーダーに合わせて設定してください。

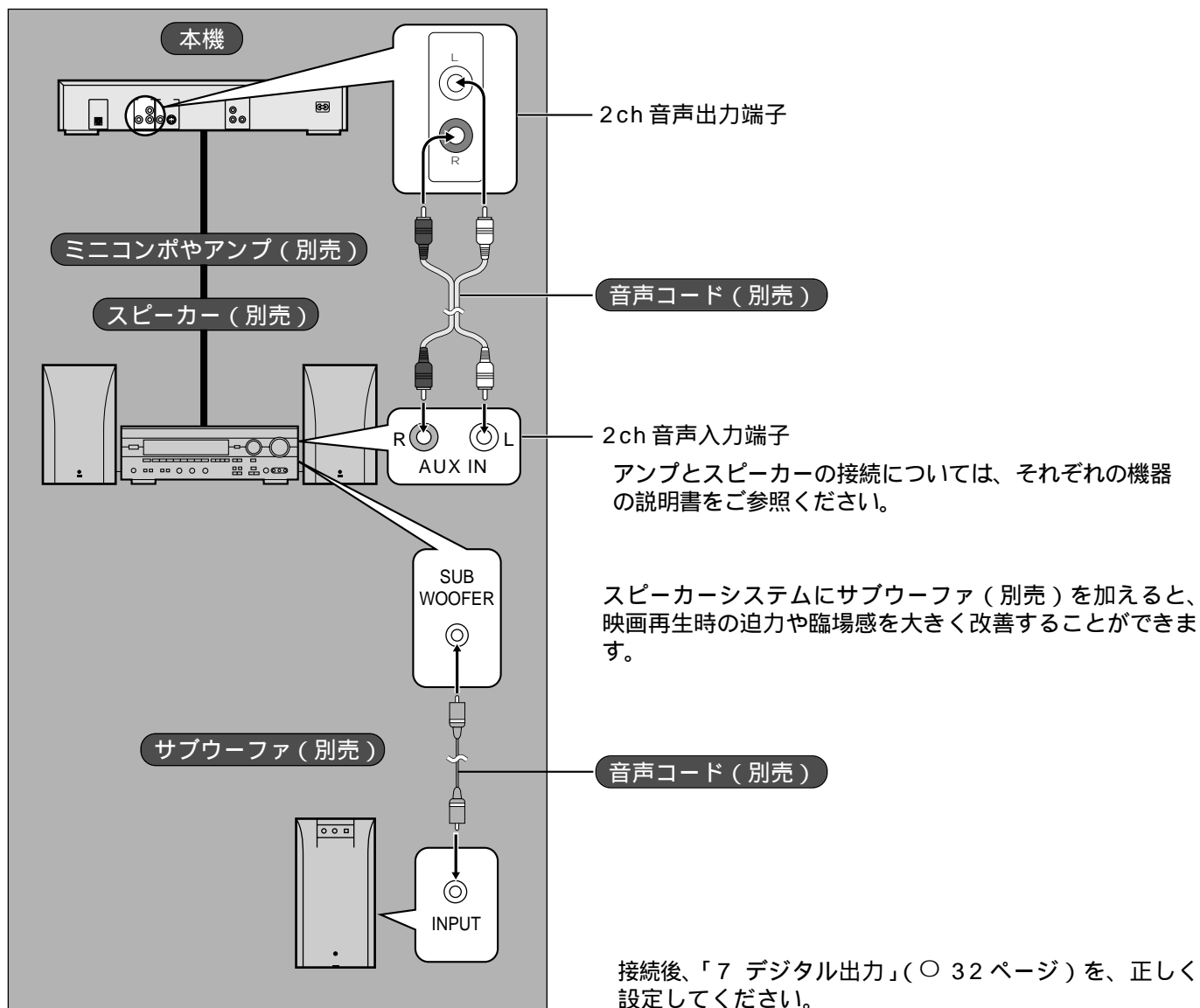
長期間使用しないときは

節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。[POWER 切]などで電源を切った状態（スタンバイ状態）でも、約 2 W の電力を消費しています。

アンプと接続する

B オーディオアンプ (2ch 音声入力端子付) との接続

ミニコンポやアンプなどの 2ch 音声入力端子に接続して音声を楽しむことができます。

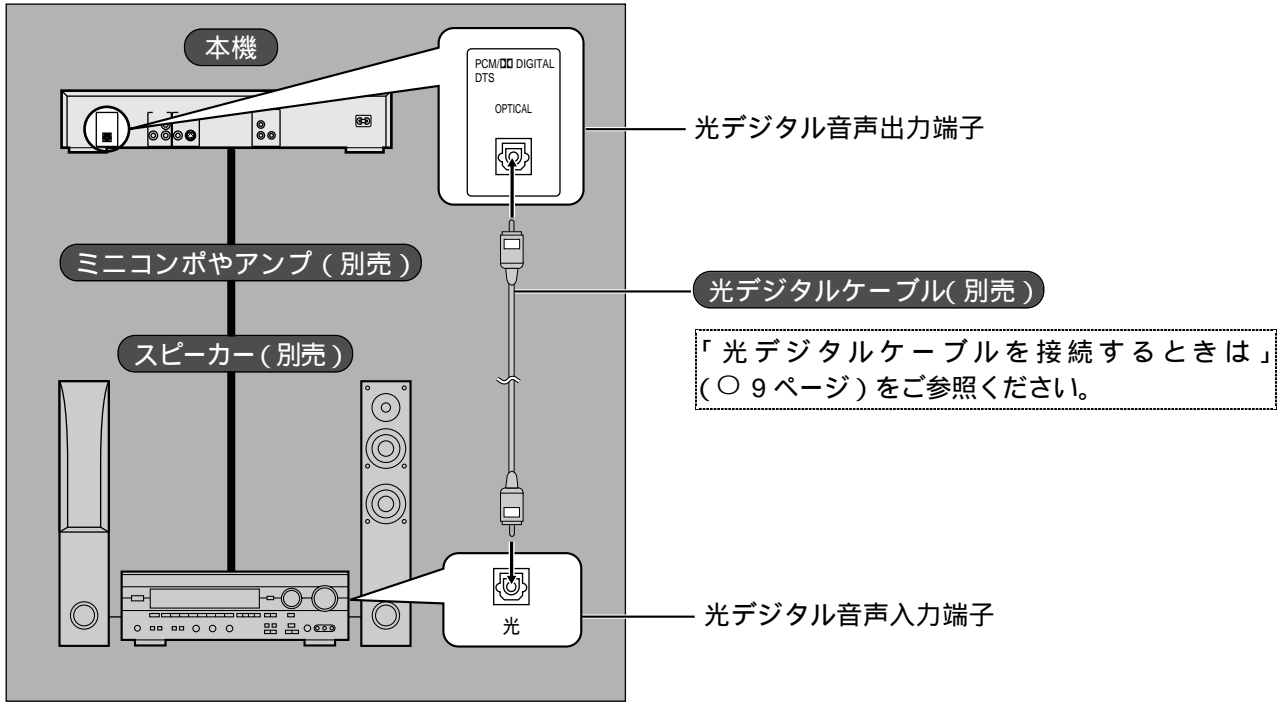


お知らせ

サブウーファ出力用端子が付いていないオーディオアンプと接続するときは、本機背面の AUDIO OUT / SUBWOOFER 出力端子にサブウーファを直接つないで音声信号を出力できます。(○ 27 ページ)

C デジタル端子付オーディオアンプ（デコーダーなし）との接続

2chのミニコンボやアンプなどのデジタル音声入力端子に接続してデジタル音声を楽しむことができます。



接続後、「7 デジタル出力」(○32ページ)を、正しく設定してください。

準備

接続
オーディオアンプ（2ch音声入力端子付）との接続
デジタル端子付オーディオアンプ（デコーダーなし）との

テレビと接続する

本機を設置するときには

他の機器にあまり近づけないでください。

(テレビ放送の映像に乱れや雑音などが発生したときは、本機の電源を切ってください。)

接続例

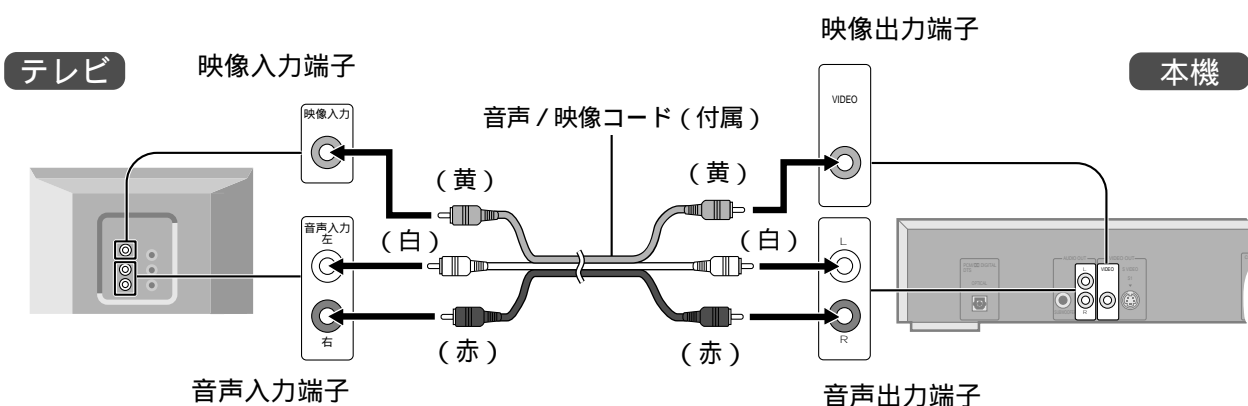
映像入力端子付テレビと接続する場合

接続する前に

テレビの説明書もご参照ください。

テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 音声 / 映像コードを接続する



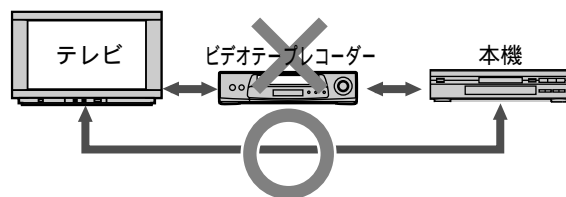
2 電源コードを接続する (○ 9 ページ)

お願い

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。

ビデオレコーダーやAVセレクター経由で接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。

複数の入力端子が装備されたビデオ内蔵型テレビに接続するときは、テレビ側の入力端子に接続してください。



接続が終了したら

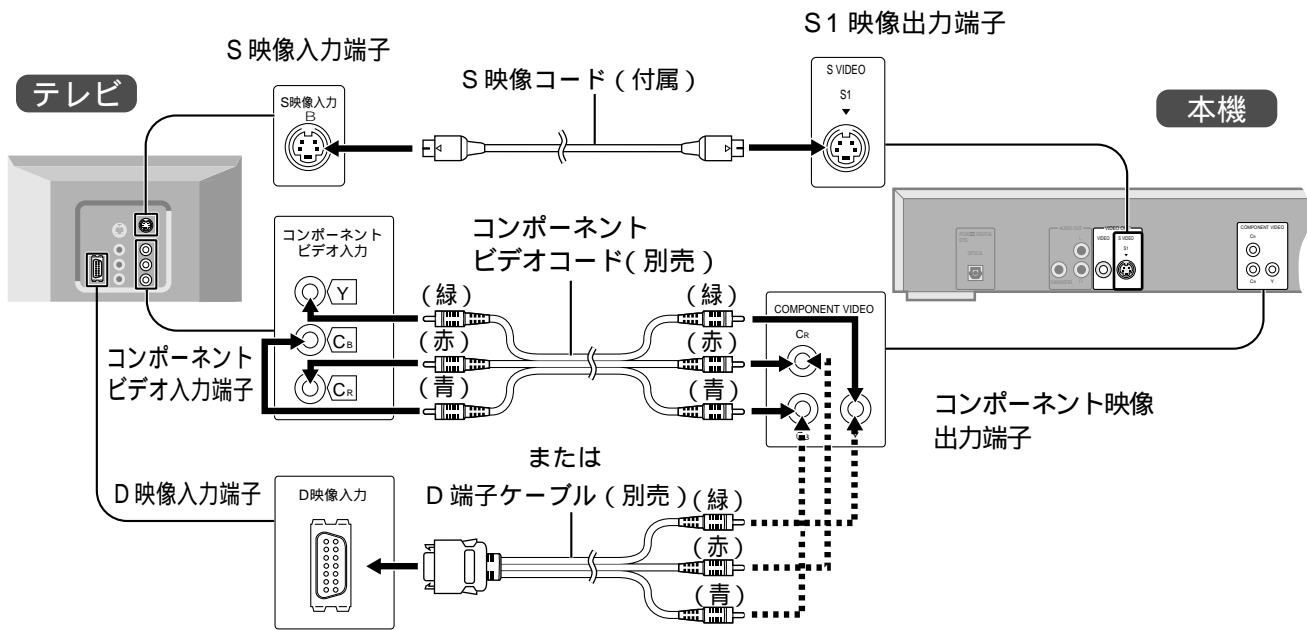
テレビ画面の横縦比が16 : 9のテレビに接続された場合は、本機の初期設定を変更してください。(○ 31 ページ)
オーディオアンプをシステムアップするときには、8 ページをご参照ください。

他の入力端子に接続するには

S1 映像出力端子に接続すると、映像情報を輝度 (Y) 信号とカラー (C) 信号に分離してテレビに伝えるため、映像出力端子に接続した場合よりも鮮明な画像を得られます。

より良い映像のために、コンポーネントビデオ入力端子に接続することをお勧めします。輝度 (Y) 信号、コンポーネント (C_B、C_R) 信号に分離されている映像情報をテレビにそのまま伝えるため、色を忠実に再現します。

音声 / 映像コード (付属) も接続してください。その場合、映像端子 (黄) を接続する必要はありません。



お知らせ

テレビにより、コンポーネントビデオ入力の表示が異なる場合があります。(Y、P_B、P_R や Y、B-Y、P-Y など)

この場合、同じ色の端子どうしを接続してください。

テレビにより、D映像入力端子の表示が異なる場合があります。本機は D1 / D2 / D3 映像入力に接続できます。

S1 映像出力端子からは S1 映像信号 (○ 42 ページ) が出力されます。

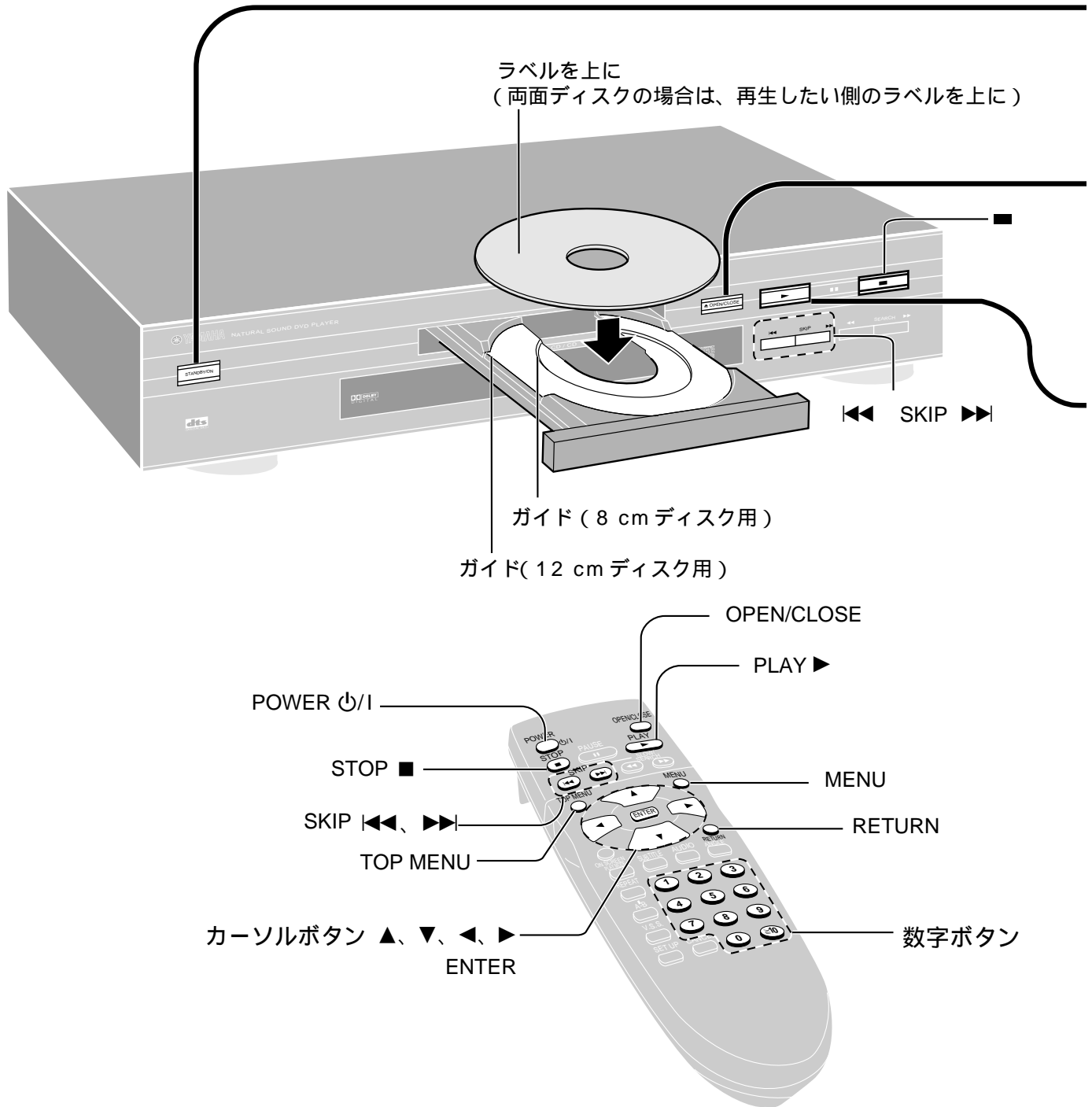
お願い

接続した端子にあわせて、テレビ側で入力を切り換えてください。

DVD に対応していない、ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。(映像方式が異なりますので、画面が乱れたり、映らないことがあります。)

S1 映像出力端子に接続し、映し出される映像がパン & スキャン (左右の切れた画面) で表示される場合、「9 エキスパート設定」の「TV モード (4 : 3)」(○ 34 ページ) で設定を「レターボックス」に変更してください。

再生してみよう



お願い

メニュー画面の表示中は、画面が静止していてもディスクは回っています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは停止してください。

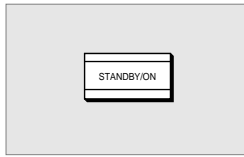
DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。再生したときにテレビの音量を上げた場合は、テレビ放送に切り換える前に必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

DVD

VCD

CD

-1



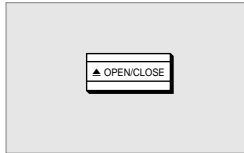
押して 電源を入れる

本体、リモコンの[▲][▶]を押すと、[POWER ㊦/|]を押したときと同様に、電源が「入」になります。

リモコンでもできます



-2



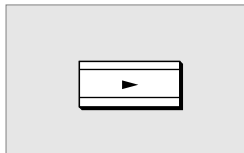
押して トレイを開き ディスクをセットする

ガイドに合わせてセットしてください。2枚以上のディスクをセットしないでください。

リモコンでもできます



-3



押して 再生を始める

(ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。)

リモコンでもできます



お知らせ

すでにディスクがセットされているときに、再生[▶]を押すと自動的に電源が入り、再生が始まります。テレビ画面に「\$」が表示されたときは、ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。再生[▶]を押した後、映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。

メニュー画面が表示されたら

メニュー画面付DVDやプレイバックコントロール機能付ビデオCDではメニュー画面が表示されます。

メニュー画面の例) 以下の手順のように、設定してください



- 1 カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]で変更する
- 2 [ENTER]を押す
または、数字ボタンで変更する

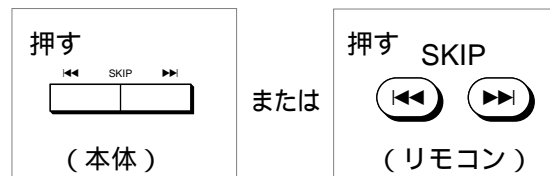
ビデオCDのときは、カーソルボタンで項目を選ぶことができません。

2ケタの番号を入力するには
例) 25



メニュー画面を消すときは
リモコンの[RETURN]を押す

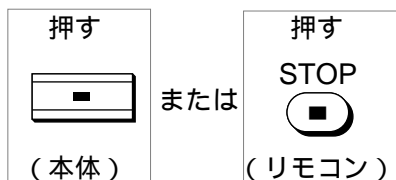
メニューに続きがあるときは



お知らせ

メニューの内容はディスクによって異なります。ここでは、一般的な操作の例を示しています。

再生を止めるには



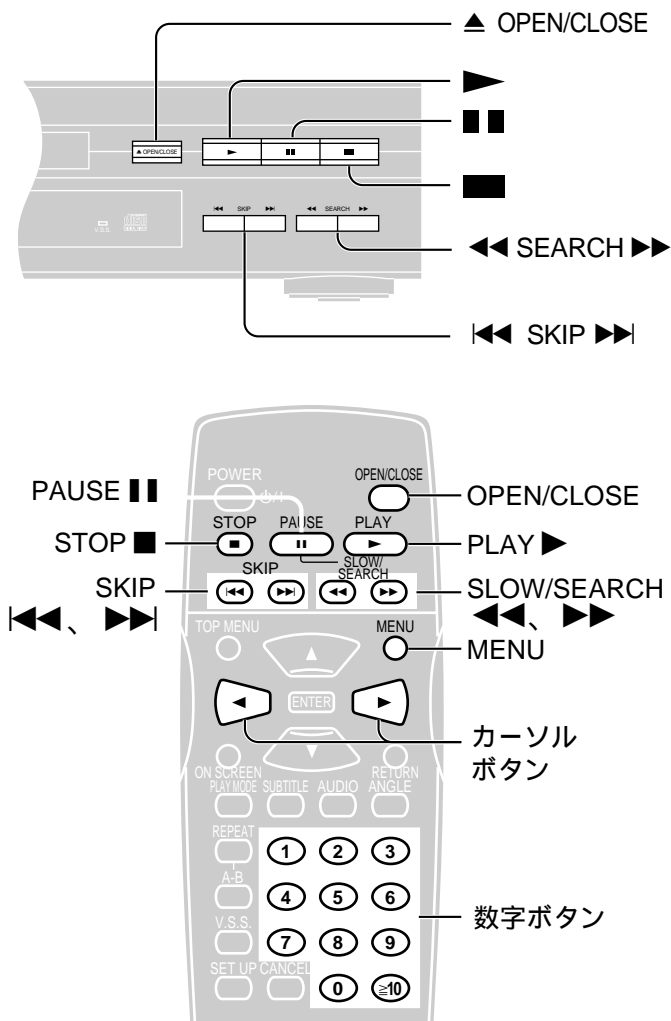
停止の状態が約30分続くと、本機は自動的に「スタンバイ」状態になります。(オートパワーオフ)

再生中メニュー画面を出すには

リモコンの[TOP MENU] DVD
または
リモコンの[MENU] DVD
または
リモコンの[RETURN]を押す

使いかた

再生してみよう



一時停止 (静止)

再生中、PAUSE [■ ■] を押す

再生を始めるには
PLAY [▶] を押す

コマ送り / コマ戻し DVD VCD

一時停止中、リモコンのカーソルボタン [◀、▶] を押す

通常の再生に戻すには
PLAY [▶] を押す

お知らせ

押し続けると、連続コマ送り / コマ戻し再生になります。
PAUSE [■ ■] を押してもコマ送りできます。
コマ戻しは DVD のみ働きます。
「9 エキスパート設定」の「1 スチルモード」
(○ 34 ページ) で画質を調整することができます。

場面や曲を飛びこす (スキップ)

再生 / 一時停止中

リモコンの SKIP [◀◀、▶▶] を押す

または

本体の [◀◀ / ◀◀ SKIP ▶▶ / ▶▶] をポンと押す

(スキップしたところから再生が始まります。)

お知らせ

SKIP [◀◀] または [◀◀ SKIP] を 1 回押すと、再生中のチャプター / トラックの頭に戻ります。もう 1 回押すと、前のチャプター / トラックの頭に戻ります。

早送り / 早戻し

再生中

リモコンの SLOW / SEARCH [◀◀、▶▶] を押す

または

本体の [◀◀ SEARCH ▶▶] を押し続ける

通常の再生に戻すには

PLAY [▶] を押す

スロー再生 DVD VCD

一時停止中

リモコンの SLOW / SEARCH [◀◀、▶▶] を押す

または

本体の [◀◀ SEARCH ▶▶] を押し続ける

通常の再生に戻すには

PLAY [▶] を押す

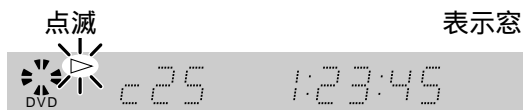
お知らせ

早送り / 早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あります。リモコンの場合はボタンを押すたびに、本体の場合はボタンを押しつづけるたびに早くなります。ボタンから指を離しても速度は維持されます。早送り 1 段階目は、音声聞こえます。DVD VCD (「早送り時の音声」(○ 34 ページ) で音声を消すことができます。)
戻し方向のスロー再生は DVD のみ働きます。

止めた位置から再生する

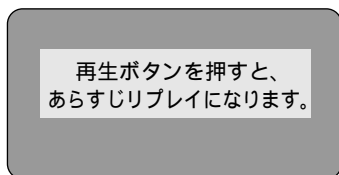
1 再生中、STOP[■]を押す

[止めた位置が記憶されます(続き再生メモリー機能)]



2 表示窓に“▷”が点滅中、PLAY[▶]を押す

止めた位置までのあらすじを見るには
下記の画面が表示されている間に、PLAY[▶]
を押す



タイトルの先頭から止めた位置までの各チャプターの冒頭が再生された後、止めた位置から再生が始まります。(あらすじリプレイ機能) [DVD]

続き再生メモリー機能を解除するには
表示窓に“▷”が点滅中、STOP[■]を押す

お知らせ

続き再生メモリー機能は、電源を切ったときでも働いています。

(コンセントから電源プラグを引き抜いたときは、続き再生メモリー機能が解除されます。)

続き再生メモリー機能/あらすじリプレイ機能は、インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール機能付ビデオCDのメニュー再生中には働きません。

ディスクを取り出しても、続き再生メモリー機能が解除されます。

インタラクティブなDVD [DVD]

例えば、複数のアングルやストーリーなどが記録されているDVDのことです。

再生中に経過時間が表示されません。

ビデオCDのメニュー画面を使わずに再生する [VCD]

プレイバックコントロール機能付ビデオCDのメニューを使わず、直接トラックを指定し、再生できます。

1 メニュー再生中、STOP[■]を押す

(プレイバックコントロール機能が解除されます)

2 リモコンの[数字ボタン]を押し、トラックを選ぶ

(選んだトラックから再生が始まります。)

再生中メニュー画面に戻るには

1 STOP[■]を押す

2 [MENU]を押す

お知らせ

メニュー再生中に、リモコンのSLOW/SEARCH[◀▶]または本体の[◀◀SEARCH▶▶]を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

プレイバックコントロール機能 [VCD]

プレイバックコントロール機能のついたビデオCDを再生したときは、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で選ぶことができます。

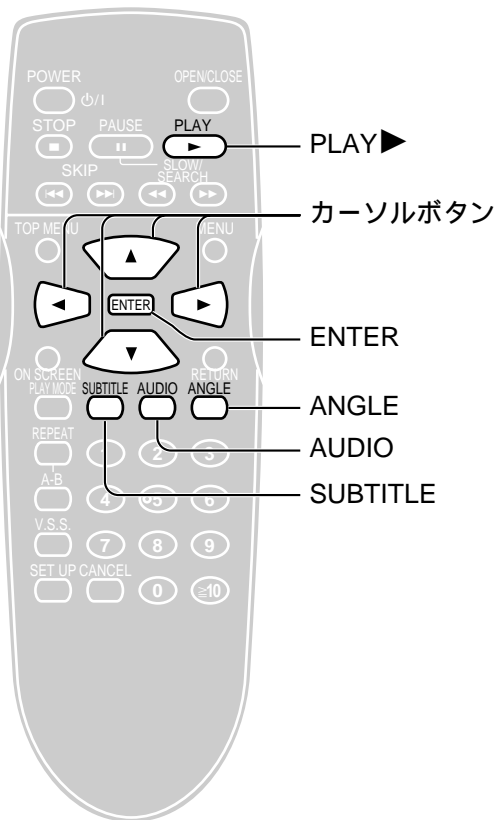
本書では、メニュー画面を使って再生することを、ビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。

使いかた

一時停止
コマ送り/コマ戻し
場面や曲で飛び越す
早送り/早戻し

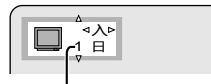
スロー再生
止めた位置から再生
ビデオCDのメニュー画面を
使わずに再生

便利な機能



字幕言語を切り換える DVD

- 1 再生中、リモコンの[SUBTITLE]を押し画面表示を出す



再生中の字幕番号
(字幕が記録されていないときは「--」と表示)

- 2 リモコンの[SUBTITLE]

または

リモコンのカーソルボタン[▲、▼]を押し希望する字幕を選ぶ

(押すごとに切り換わります)

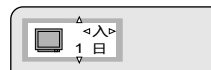
変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

画面表示を消すには

リモコンの[ENTER]を押す

字幕を「切」「入」する DVD

- 1 再生中、リモコンの[SUBTITLE]を押して画面表示を出す



- 2 リモコンのカーソルボタン[◀、▶]を押し「切」「入」を選ぶ

画面表示を消すには

リモコンの[ENTER]を押す

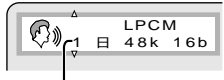
お知らせ

音声 / 字幕 / アングルの切り換えは、それらが複数記録されている DVD で働きます。

音声 / 字幕言語は、続き再生メモリー機能 (○ 17 ページ) が解除されると、初期設定「1 ディスク言語」(○ 29 ページ) で設定されている言語に戻ります。


インタラクティブな DVD の場合は、再生を止めると、初期設定で設定されている言語に戻ります。ディスクに記録されているメニュー画面 (○ 21 ページ) でのみ音声 / 字幕 / アングルを切り換えられるディスクもあります。

音声を切り換える DVD

- 再生中、リモコンの[AUDIO]を押し
画面表示を出す

再生中の音声番号
(音声記録されていないときは「-」と表示)
- リモコンの[AUDIO]
または
リモコンのカーソルボタン[▲、▼]を押し
希望する音声を選ぶ
(押すごとに切り換わります)

画面表示を消すには
リモコンの[ENTER]を押す

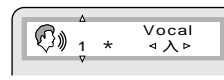
アングルを切り換える DVD

- 再生中、リモコンの[ANGLE]を押し
画面表示を出す

再生中のアングル番号
- リモコンの[ANGLE]
または
リモコンのカーソルボタン[▲、▼]を押し
希望するアングルを選ぶ
(押すごとに切り換わります)
複数のアングルが記録されている場面では、
表示窓に「ANGLE」が点灯します。

画面表示を消すには
リモコンの[ENTER]を押す

カラオケソフトのボーカルを切り換える DVD VCD


DVD

- 再生中、リモコンの[AUDIO]を押し
画面表示を出す

- リモコンのカーソルボタン[◀、▶]を押し
希望するボーカルを選ぶ

ソロ --- (切)	デュエット A. --- (切) 1 + 2 (入) V1 (入) V2 (入)	「---」を選ぶとカラオケができます。 「V1」または「V2」を選ぶと、ひとりでデュエットができます。
---------------	--	--

画面表示を消すには
リモコンの[ENTER]を押す

VCD

- 再生中、リモコンの[AUDIO]を押し
画面表示を出す

- リモコンの[AUDIO]または
リモコンのカーソルボタン[▲、▼]を押し
希望するボーカルを選ぶ

A. LR: ボーカルあり (右よりに聞こえる。)		
L: ボーカルなし		「L」を選ぶとカラオケができます。
a. R: ボーカルあり (左右均等に聞こえる。)		

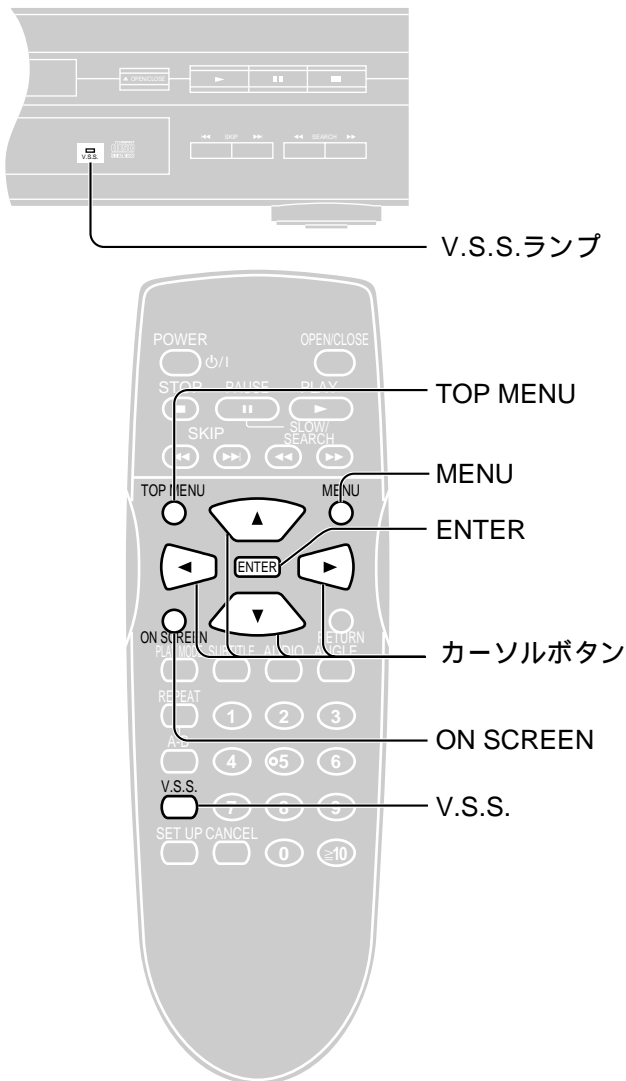
画面表示を消すには
リモコンの[ENTER]を押す

お知らせ
カラオケソフトのほとんどは、選んだ曲が終わるたびにメニュー画面に戻るよう制作されています。メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合は、その項目を選び、決定すると、全曲が再生されます。本機には直接マイクを接続できません。カラオケを楽しむときは、マイク入力端子付のAVアンプなどに接続してください

使いかた

字幕言語切り換え / 字幕「切」「入」
音声切り換え
アングル切り換え
カラオケソフトのボーカル切り換え

便利な機能



バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ DVD

メインスピーカー（L / R）だけでサラウンド感を楽しむことができます。

再生中、[V.S.S.]を押す

（ボタンを押すたびに効果のレベルが切り換わります。）

V.S.S.1（ランプが点灯します）



V.S.S.2（ランプが点灯します）



切（ランプが消灯します）



効果のレベル

< V.S.S.1 >

ステレオディスク

音が左右に広がって聞こえる。

サラウンド信号があるディスク

ステレオディスクでの効果に加え、サラウンド信号からの音がスピーカーの存在しない横方向からも出ているように聞こえる。

< V.S.S.2 >

レベル1よりも、さらに音の横方向の広がり感が増す。

GUI画面を使ってV.S.S.の効果のレベルを切り換えることもできます。（○ 27 ページ「V.S.S.」）

お願い

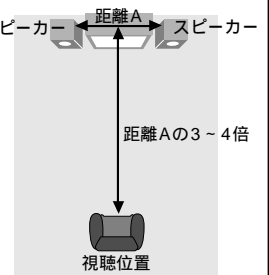
本機の音声出力端子を使って、メインスピーカー（L / R）以外にスピーカーを接続しているとき（○ 8 ページ）はV.S.S.機能を働かせないでください。メインスピーカー以外のスピーカーから音が出なくなります。（本機背面のAUDIO OUT/SUBWOOFER端子からは音声信号が出力されます。）

お知らせ

V.S.S.は、右図の視聴位置でお楽しみいただくのが最も効果的です。

V.S.S.は、ドルビーデジタル2ch以上で記録されたDVDで働きます。ただし、ディスクによっては効果が出にくいものや、効果が出ないものがあります。

V.S.S.は、カラオケのDVDには働きません。



こんなこともできます

再び見たい（聞きたい）ところを記憶する（○ 27 ページ「マーカー」）

記憶させたところから再生を始めることができます。インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール機能付ビデオCDのメニュー再生中には働きません。

メニューを使って再生する DVD

再生中メニュー画面を呼び出して好みのタイトル/チャプターにスキップしたり、音声/字幕などを切り換えたりできます。

1 再生中、

リモコンの[**TOP MENU**]
または
リモコンの[**MENU**]
を押す

例)チャプター選択画面

チャプター 1~10
チャプター11~20
チャプター21~30
チャプター31~40
チャプター41~50

もう一度押すと、ボタンを押す前に再生していた場面に戻ります。

2 リモコンのカーソルボタン[▲、▼、◀、▶]を押し、
[ENTER]を押す

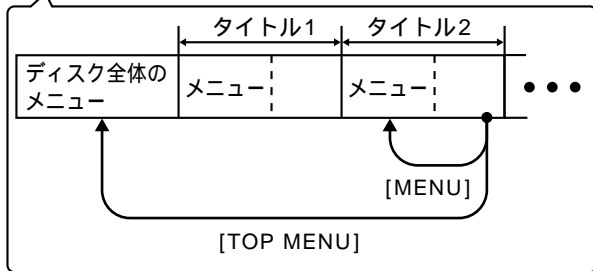
(次々とメニューが表示されるときは、手順を繰り返してください)

お知らせ

メニューの内容は、ディスクによって異なります。
[TOP MENU]を押したときと[MENU]を押したときで、表示されるメニューが異なるDVDもあります。



例えば、タイトル2再生中にそれぞれのボタンを押すと



セリフの音量を上げる
(シネマラウドネスモード) DVD

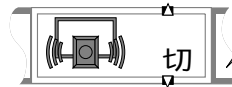
映画など、迫力ある効果音が記録されたソフトでのセリフ部を聞き取りやすくします。
(ドルビーデジタル3ch以上で記録され、センターチャンネルにセリフが入っているDVDで働きます)

1 再生中、リモコンの[ON SCREEN]を2回押す

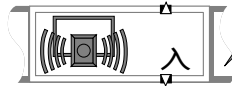
[GUI画面(○27ページ「本機の情報画面」)が表示されます]



2 リモコンのカーソルボタン[◀、▶]を押し、
[シネマラウドネスモード]の絵表示を選ぶ



3 リモコンのカーソルボタン[▲、▼]を押し、
「入」を選ぶ

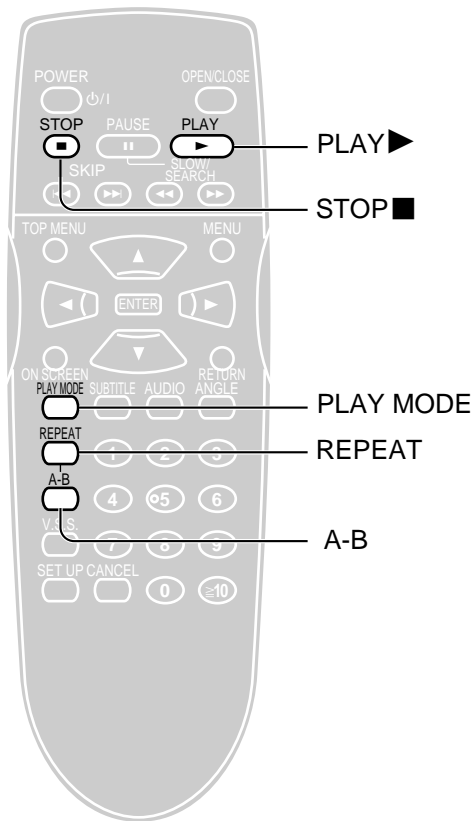


元の音量に戻すには
手順3で[切]を選ぶ

画面表示を消すには
リモコンの[RETURN]を押す

使いかた

バーチャルサラウンドサウンドメニューを使って再生
シネマラウドネスモード

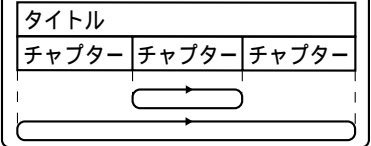


繰り返し再生する (リピート再生)

好みのチャプターやトラック (○ 42 ページ「用語解説」) などを繰り返し再生できます。

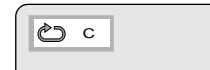


例えば



再生中、リモコンの[REPEAT]を押す

例)DVD のとき



ボタンを押すたびにリピート再生の種類が切り換わります。

表示が切り換わった時点で種類が決定され、リピート再生が始まります。

DVD

- A. 再生中のチャプターを繰り返す
- U 再生中のタイトル全体を繰り返す
- 切 通常の再生に戻る

VCD CD

- A. 再生中のトラックを繰り返す
- U ディスク全体を繰り返す
- 切 通常の再生に戻る

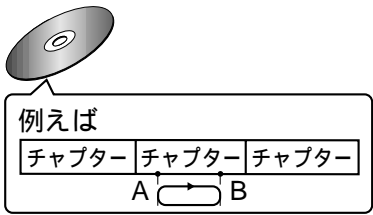
お知らせ

リピート再生ができないDVDもあります。インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール機能付ビデオCDのメニュー再生中には働きません。

DVDの場合、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。

好みの場所を繰り返し再生する
(A-B リピート再生)

同一タイトル/トラック内で繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。



1 再生中、リモコンの[A-B]を押す
(開始場所 A を指定します)



2 リモコンの[A-B]を押す
(終了場所 B を指定します)



AB 間の繰り返し再生が始まります。

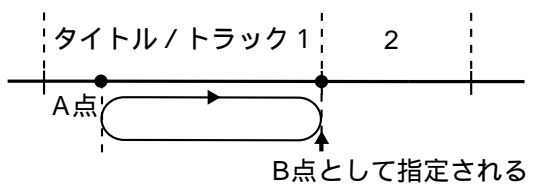
通常の再生に戻すには
リモコンの[A-B]を押す



A-B リピートが解除されます。

お知らせ

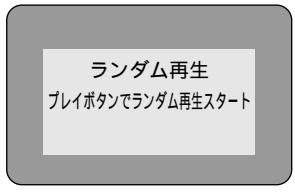
インタラクティブな DVD には働きません。
A 点と B 点の前後では、字幕が表示されないことがあります。
B 点を指定する前にタイトル/トラックの再生が終了したときは、タイトル/トラックの終了点が自動的に B 点として指定されます。



順不同に再生する
(ランダム再生) VCD CD

プレーヤーにおまかせの順番で再生されます。

1 停止中、リモコンの[PLAY MODE]を数回押す
(下記の画面が出るまで押してください)



2 PLAY[▶]を押す

(ランダム再生が始まります)
再生が終了すると、停止してランダム再生画面に戻ります。

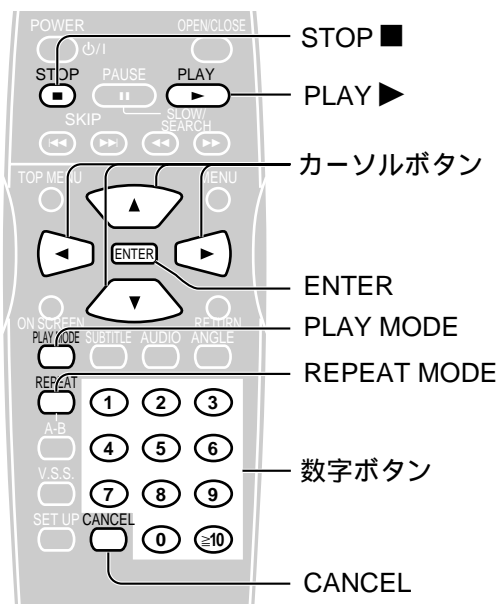
ランダム再生画面を消すには
リモコンの[PLAY MODE]を押す

通常の再生に戻すには
1 ランダム再生中、STOP[■]を 2 回押す
2 リモコンの[PLAY MODE]を押す
3 PLAY[▶]を押す

お願い

テレビ画面に“\$”が表示されたときは
STOP [■]を押してから、[PLAY MODE]を数回押してください。

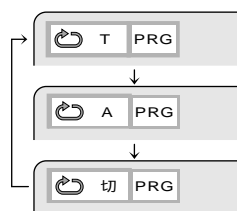
使いかた
リピート再生
A・Bリピート再生
ランダム再生



こんなこともできます

予約したトラックを繰り返し再生する
(プログラムリピート再生)

プログラム再生中、リモコンの[REPEAT]を押す
ボタンを押すたびにリピート再生の種類が切り換わります。



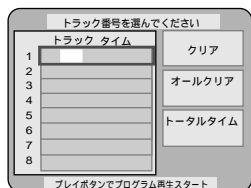
再生中のトラックを繰り返す
プログラム全体を繰り返す
プログラム再生に戻る

好みの順に再生する (プログラム再生) VCD CD

好みのトラックだけを、好みの順番で再生できます。

1 停止中、プログラム選択画面(○ 下記)が出るまで
リモコンの[PLAY MODE]を数回押す

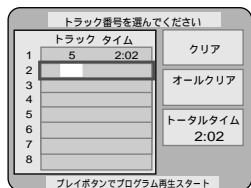
例)



表示窓 点滅
表示窓だけ見ながら
予約をすることも
できます。

2 リモコンの[数字ボタン]を押して
トラック番号を選ぶ

(手順2を繰り返し、最大32曲予約できます。32曲
以上予約すると32曲目に上書きして予約されます。)



トラック番号
プログラム番号

3 PLAY[▶]を押す

(再生が終了すると、停止してプログラム選択画面
に戻ります。)

プログラムの予約を1曲ずつ取り消すには
カーソルボタン[◀ ▶]を押して
表示画面の[クリア]を選択し、[ENTER]を押す
([CANCEL]を押しても、予約を取り消すことが
できます)

プログラムの予約をすべて取り消すには
カーソルボタン[▲ ▼、◀ ▶]を押して
表示画面の[オールクリア]を選択し、
[ENTER]を押す

プログラム選択画面を消すには
リモコンの[PLAY MODE]を2回押す
通常の再生に戻すには

- 1 プログラム再生中、STOP[■]を2回押す
- 2 リモコンの[PLAY MODE]を2回押す
- 3 PLAY[▶]を押す (予約番号は保持されます。)

プログラム再生中に追加予約したいときは
STOP[■]を2回押す
プログラム選択画面が表示されます。
リモコンのカーソルボタン[▲ ▼]で空きを選び、
手順2、3を行ってください。

お知らせ

電源を切るか、ディスクトレイを開くまで、予約は
保持されます。
プログラム再生中に、リモコンのカーソルボタン[▲、
▼]を押すと、表示窓で予約の確認ができます。
さらに[ENTER]を押すと、予約の変更ができます。

8曲以上予約した場合、リモコンのSLOW/SEARCH
[◀◀ ▶▶]を押すと、前後の予約画面を確認できます。
テレビ画面に“\$”が表示されたときはSTOP [■]
を押してから、[PLAY MODE]を数回押してください。

絵表示 (GUI画面) を見ながら操作する

DVD

VCD

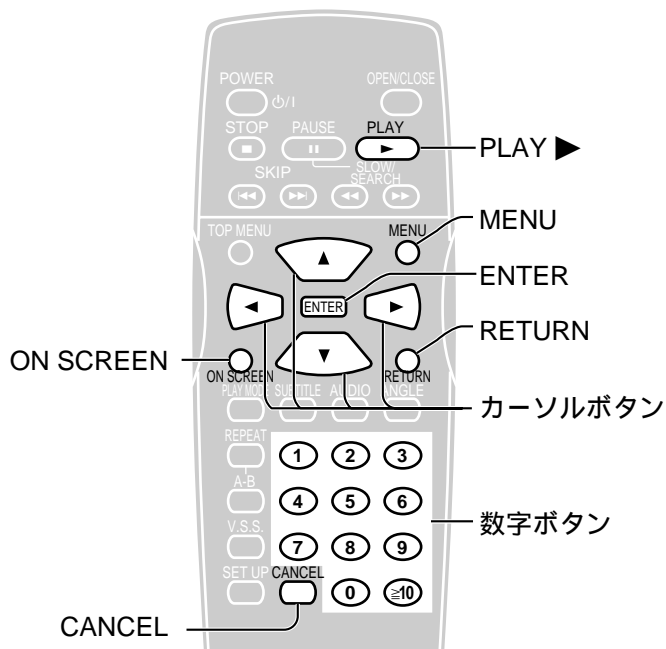
CD

グラフィカル・ユーザー・インターフェース

GUI (Graphical User Interface) とは

「画面を見ながら絵表示を使って操作ができる」ことを意味し、本機では、ディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。

操作方法



- 1 再生中または停止中、
リモコンの[ON SCREEN]を押す
(押すたびにGUI画面が切り換わります)
- 2 リモコンのカーソルボタン[◀、▶]を押して
絵表示 (情報画面) を選ぶ
(選んだ絵表示の枠が黄色で示されます。)
- 3 リモコンのカーソルボタン[▲、▼]を押して
絵表示 (情報画面) の設定を変更し、
[ENTER]を押す

数字ボタンで変更できるものもあります。この場合、数字ボタンを押した後に[ENTER]を押してください。本機の情報画面で「A-B リpeat再生」「マーカー」を選んだときは表中の操作に従ってください。枠内の[▲、▼]はカーソルボタン[▲、▼]で変更できることを示します。

お知らせ

停止中には操作できないものもあります。
リモコンの[ENTER]またはPLAY[▶]を押すまで変更が実行されないものもあります。
ソフトやテレビの機能によっては、GUI画面が欠けたり表示されなかったりすることがあります。
この場合、GUI画面の位置や色を変えてください。
(○ 31 ページ「オンスクリーン」)

GUI画面を消すには

- リモコンの[RETURN]
- または
- リモコンの[CANCEL]を押す

GUI画面の内容

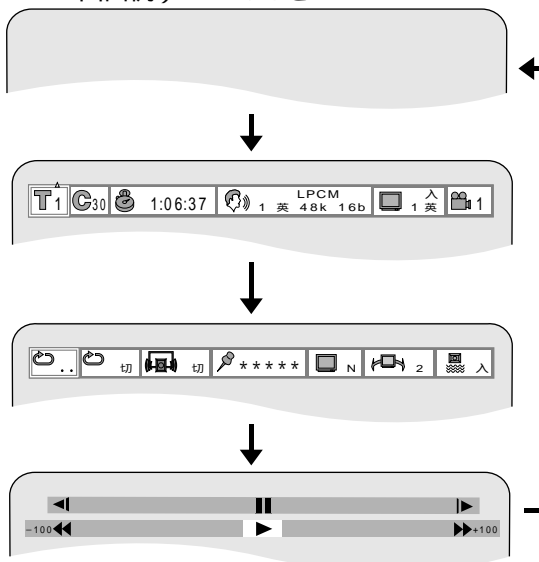
表示内容は、ディスクによって異なります。

< ディスクの情報画面 > (○ 26 ページ)
タイトル/チャプター/トラックを選んだり、音声/字幕/アングルを切り換えたりできます。

< 本機の情報画面 > (○ 27 ページ)
お好みの場所にマークをしたり、画質、V.S.S.効果の調整やサブウーファの設定ができます。

< シャトル画面 > (○ 26 ページ)
早送り/早戻しや、スロー再生ができます。

GUI画面例)DVD のとき



便利な機能

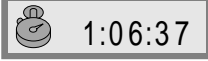
プログラム再生

使いかた

絵表示を見ながら操作する

絵表示 (GUI画面) を見ながら操作する

ディスクの情報画面

	タイトル番号 <input type="text" value="DVD"/> トラック番号 <input type="text" value="VCD"/> <input type="text" value="CD"/> 番号を選び、[ENTER]を押すと、そのトラック/タイトルの再生を開始する
	チャプター番号 <input type="text" value="DVD"/> 番号を選び、[ENTER]を押すと、そのチャプターの再生を開始する
	経過時間 <input type="text" value="DVD"/> 数字ボタンで再生を始める時間を指定すると、そこから再生を開始する 例) 1時間6分37秒から再生するとき [1] [0] [6] [3] [7] [ENTER]を押す
	時間表示 <input type="text" value="VCD"/> <input type="text" value="CD"/> : 内容変更はできません。 再生中、カーソルボタン[▲、▼]を押すたびに表示を変更する トラックの経過時間() トラックの残り時間() ディスクの残り時間 1 ^-----J
	音声番号 <input type="text" value="DVD"/> 番号を選ぶとその音声で再生する a : 番号に割り当てられた音声 (○ 下記参照「音声/字幕言語」) b : 番号に割り当てられた音声属性 (○ 下記参照「音声属性」)
	音声チャンネル <input type="text" value="VCD"/> チャンネルを選ぶとその音声で再生する LR () L () R (左右チャンネルの音声) (左チャンネルの音声) (右チャンネルの音声) ^-----J
	字幕番号/字幕「入」「切」 <input type="text" value="DVD"/> 番号を選ぶと、その言語で再生/字幕の「入」「切」を選択する a : 番号に割り当てられた字幕言語 (○ 下記参照「音声/字幕言語」)
	アンクル番号 <input type="text" value="DVD"/> 番号を選ぶとそのアンクルで再生する
	メニュー再生の「入」「切」表示 (プレイバックコントロール機能付 <input type="text" value="VCD"/>) : 内容変更はできません。

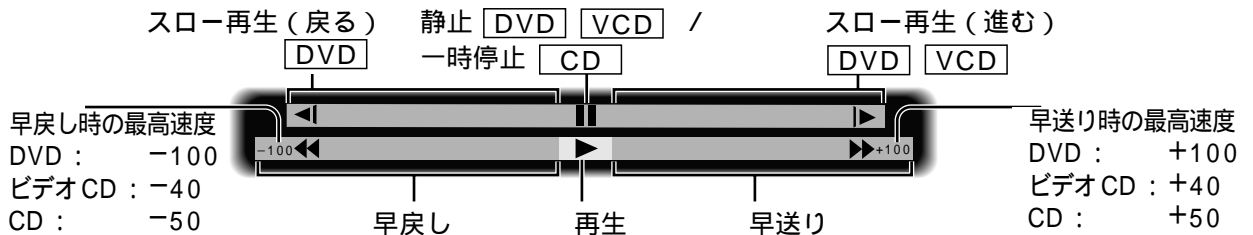
a 音声/字幕言語

b 音声属性 (ディスク内の音声属性が表示される。)

日: 日本語	蘭: オランダ語
英: 英語	中: 中国語
仏: フランス語	露: ロシア語
独: ドイツ語	韓: 韓国語
伊: イタリア語	*: その他
西: スペイン語	

LPCM 96k / 48k、16b / 20b / 24b : リニア PCM [kはサンプリング周波数 (kHz) を、bはビット数 (bit) を表す。]
DD Digital 1ch ~ 3 / 2.1ch ² : ドルビーデジタル
DTS 1ch ~ 3 / 2.1ch ² : DTS Digital Surround
Vocal --- / 入 : カラオケ(ソロ)
Vocal --- / V1 + V2 / V1 / V2 : カラオケ(デュエット)

シャトル画面

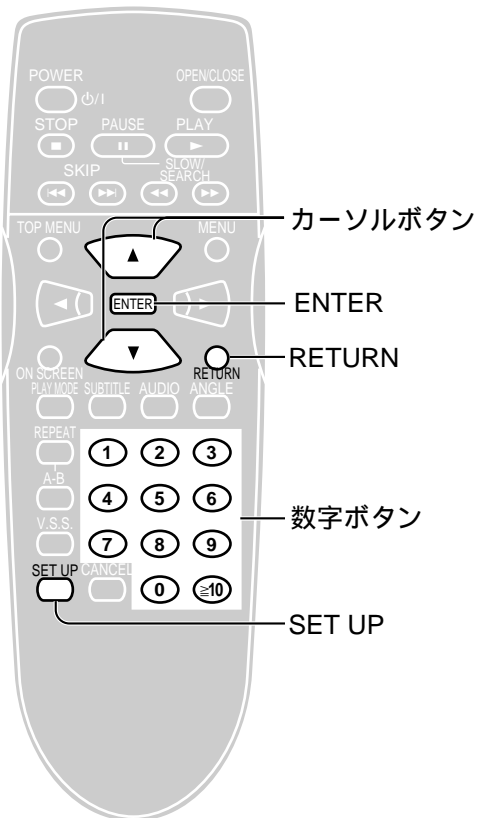


26 早送り/早戻し、スロー再生の速度は5段階あり、ボタンを押すたびに早くなります。ディスクによって操作できないものもあります。

設定を変える

共通手順

お好みや使用状況に応じて様々な設定を変更することができます。(電源を切っても変更するまで保持されます。)



- 1 停止中、リモコンの
[SET UP]を押し、
初期設定画面を表示する



- 2 リモコンのカーソルボタン[▲、▼]を押して
項目/内容を選び
リモコンの[ENTER]を押す
(必要なだけ繰り返してください)

■ 初期設定で変更できる内容

- 1 ディスク言語 (○ 29ページ)
音声 / 字幕 / メニューの言語を変える
- 2 視聴制限 (○ 30ページ)
視聴制限を設定する / 変更する
- 3 画面メニュー言語 (○ 30ページ)
画面に表示されるさまざまな言語を変える
- 4 オンスクリーン (画面表示の設定 : ○ 31ページ)
画面表示の有無、色 / 位置を変える
- 5 FLディマー (表示窓の明るさ設定 : ○ 31ページ)
表示窓の明るさを変える
- 6 接続するTV (○ 31ページ)
接続したテレビに合わせて設定する
- 7 デジタル出力 (○ 32ページ)
接続した機器側のデコーダーまたはデジタル端子付オーディオアンプに合わせて設定する
- 9 エキスパート設定 (特殊な設定 : ○ 34ページ)
スチルモードなどの特殊な設定を変える

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]を押す

■ 初期設定を終了するときは

初期設定画面が消えるまで[RETURN]を数回押す

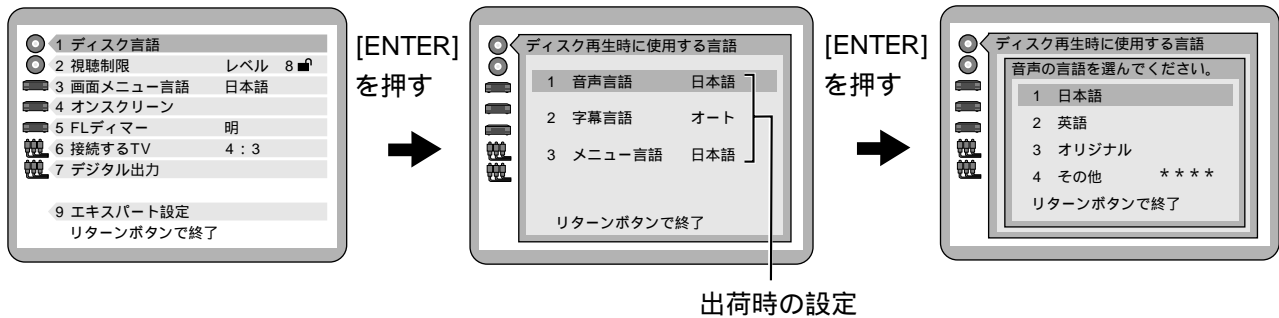
お知らせ

数字ボタンを押しても項目/内容を変更できます。

1 ディスク言語

再生時に使う各種言語が設定できます。(設定した言語が、ディスクに記録されていない場合や、ディスク側であらかじめ優先言語が決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。)

- 1 初期設定画面で「1 ディスク言語」を選ぶ
- 2 カーソルボタン[▲、▼]を押して「音声言語」/「字幕言語」/「メニュー言語」を選ぶ
- 3 カーソルボタン[▲、▼]を押して言語を選ぶ



お知らせ

「1 音声言語」の「オリジナル」はディスクの最優先言語を表します。
 「2 字幕言語」で「オート」に設定すると、「1 音声言語」で選んだ言語で音声再生されなかった場合に、その言語で字幕を表示します。それ以外の場合は表示しません。
 「その他」にはリモコンの数字ボタンでお好みの言語の言語番号を入力してください。

言語番号一覧表

6565 : アファル	7079 : フェロー	7678 : リンガラ	8376 : スロベニア
6566 : アブハジア	7082 : フランス	7679 : ラオ	8377 : サモア
6570 : アフリカーンス	7089 : フリジア	7684 : リトアニア	8378 : ショナ
6577 : アムハラ	7165 : アイルランド	7686 : ラトビア (レット)	8379 : ソマリ
6582 : アラビア	7168 : (スコットランド)	7771 : マダガスカル	8381 : アルバニア
6583 : アッサム	ゲール	7773 : マオリ	8382 : セルビア
6588 : アイマラ	7176 : ガリチア	7775 : マケドニア	8385 : スンダ
6590 : アゼルバイジャン	7178 : グアラニー	7776 : マラヤーラム	8386 : スウェーデン
6665 : パシキール	7185 : グジャラト	7778 : モンゴル	8387 : スウヒリ
6669 : ベロルシア	7265 : ハウサ	7779 : モルダビア	8465 : タミル
(白ロシア)	7273 : ヒンディー	7782 : マラッタ	8469 : テルグ
6671 : ブルガリア	7282 : クロアチア	7783 : マライ (マレー)	8471 : タジク
6672 : ビハール	7285 : ハンガリー	7784 : マルタ	8472 : タイ
6678 : ベンガル (バンガラ)	7289 : アルメニア	7789 : ビルマ	8473 : ティグリニア
6679 : チベット	7365 : インターリングア	7865 : ナウル	8475 : トルクメン
6682 : ブルターニュ	7378 : インドネシア	7869 : ネパール	8476 : タガログ
6765 : カタロニア	7383 : アイスランド	7876 : オランダ	8479 : トンガ
6779 : コルシカ	7384 : イタリア	7879 : ノルウェー	8482 : トルコ
6783 : チェコ	7387 : ヘブライ	7982 : オーリヤ	8484 : タタール
6789 : ウェールズ	7465 : 日本語	8065 : パンジャブ	8487 : トウイ
6865 : デンマーク	7473 : イディッシュ	8076 : ポーランド	8575 : ウクライナ
6869 : ドイツ	7487 : ジャワ	8083 : パシュト	8582 : ウルドゥー
6890 : ブータン	7565 : グルジア	8084 : ポルトガル	8590 : ウズベク
6976 : ギリシャ	7575 : カザフ	8185 : ケチュア	8673 : ベトナム
6978 : 英語	7576 : グリーンランド	8277 : レトロマンズ	8679 : ヴォラピュック
6979 : エスペラント	7577 : カンボジア	8279 : ルーマニア	8779 : ウォロフ
6983 : スペイン	7578 : カンナダ	8285 : ロシア	8872 : コーサ
6984 : エストニア	7579 : 韓国 (朝鮮) 語	8365 : サンスクリット	8979 : ヨルバ
6985 : バスク	7583 : カシミール	8368 : シンド	9072 : 中国語
7065 : ペルシャ	7585 : クルド	8372 : セルボクロアチア	9085 : ズールー
7073 : フィンランド	7589 : キルギス	8373 : シンハラ	
7074 : フィジー	7665 : ラテン	8375 : スロバキア	

使いかた

共通手順
ディスク言語

設定を変える

2 視聴制限

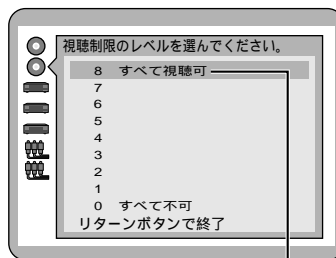
お子さまなどに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。
ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限のレベルが設定されていない場合、視聴の制限はできません。
暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

1 初期設定画面で
「2 視聴制限」を選ぶ



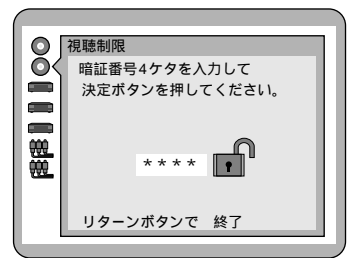
[ENTER]
を押す

2 カーソルボタン[▲、▼]を押して
視聴制限のレベルを選ぶ



出荷時の設定

3 数字ボタン[▲、▼]を押して
4桁の暗証番号を入力する



4 [ENTER]を押す

レベル8 : すべてのディスクが再生可

レベル1~7 : 制限レベルが記録されているディスクの再生を禁止

レベル0 : すべてのディスクの再生を禁止

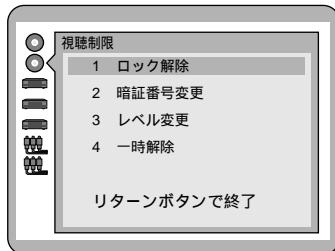
レベル7以下を選んだときは数字ボタンで暗証番号(4ケタ)を入力してください。(ロックがかかります。)

制限レベルを持たないソフトも制限したいときは「0(すべて不可)」を選んでください。

お願い

ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。暗証番号は忘れないでください。
操作によって異なる画面が出る場合がありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

■ 制限内容を変更するには(レベル0~7のとき)



手順4の画面で、数字ボタンを使って暗証番号(4ケタ)を入力し、[ENTER]を押すと、以下の項目を選ぶことができます。

- 1 ロック解除 : 制限を解除してレベル8に戻す
- 2 暗証番号変更 : 暗証番号を変更する
- 3 レベル変更 : 制限レベルを変更する
- 4 一時解除 : 一時的に制限を解除する

変更後、リモコンの[ENTER]を押し、画面の指示に従ってください。

「4 一時解除」を選ぶと、電源を切るかディスクトレイを開けるまでレベル8の状態が続きます。

3 画面メニュー言語

「再生」などの画面表示や初期設定画面の言語を選べます。

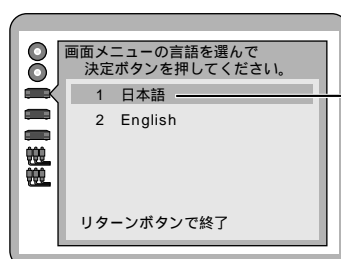
1 初期設定画面で
「3 画面メニュー言語」を選ぶ



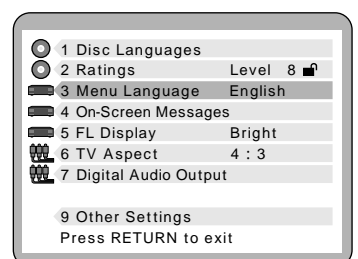
[ENTER]
を押す

2 カーソルボタン[▲、▼]を押して
「日本語」 / 「English」を選ぶ

出荷時の設定

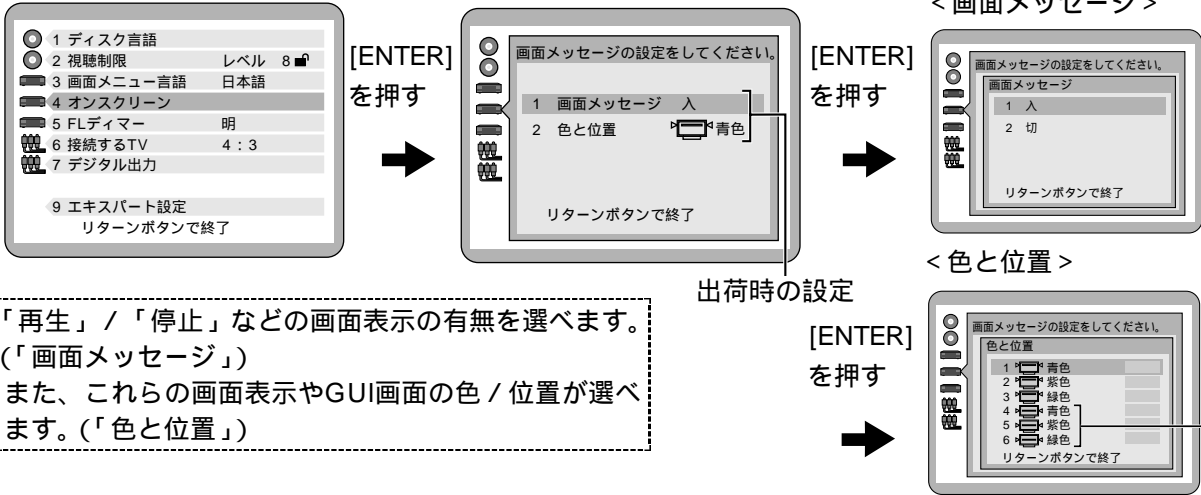


例) Englishを選んだ場合



4 オンスクリーン（画面表示の設定）

- 1 初期設定画面で「4 オンスクリーン」を選ぶ
- 2 カーソルボタン[▲、▼]を押して「画面メッセージ」 / 「色と位置」を選ぶ
- 3 カーソルボタン[▲、▼]を押して「画面メッセージ」 / 「色と位置」の設定を変更する



5 FLディマー（表示窓の明るさ設定）

表示窓の明るさを少し暗くできます。

- 1 初期設定画面で「5 FLディマー」を選ぶ
- 2 カーソルボタン[▲、▼]を押して「常時 明」 / 「常時 暗」を選ぶ



6 接続するTV

テレビの電源を「入」にし、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換えてください。
テレビ画面の横縦比が4：3のテレビに接続された場合は、設定する必要はありません。

- 1 初期設定画面で「6 接続するTV」を選ぶ
- 2 カーソルボタン[▲、▼]を押してテレビ画面の横縦比を選ぶ



お知らせ

テレビ画面に映し出される映像の横縦比については、37ページをご参照ください

使いかた

視聴制限
画面メニュー言語
オンスクリーン（画面表示の設定）
FLディマー（表示窓の明るさ設定）
接続するTV

接続するTV

設定を変える

7 デジタル出力

各機器との接続方法に応じて、本機の光デジタル端子から出るデジタル出力信号の種類を選びます。

PCMダウンサンプリング変換 : リニアPCM 96kHzで記録された音声を48 kHz/16 bitに変換しないか
 するか選択

Dolby Digital : Dolby Digital信号をBitstreamかPCMのどちらで出力するか選択

DTS Digital Surround : DTS信号を出力しないかBitstreamで出力するか選択

準備

本機および接続した機器の電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換えてください。

- 初期設定画面で「7 デジタル出力」を選ぶ
- カーソルボタン[▲、▼]を押して「PCMダウンサンプリング変換」 / 「Dolby Digital」 / 「DTS Digital Surround」を選ぶ



[ENTER]
を押す



出荷時の設定

- PCMダウンサンプリング変換
(リニアPCM 96kHzで記録された音声を48 kHz/16 bitに変換しないかを選択)
- Dolby Digital
(Dolby Digital信号をBitstreamかPCMのどちらで出力するか選択)
- DTS Digital Surround
(DTS信号を出力しないかBitstreamで出力するか選択)

3 [ENTER]を押す

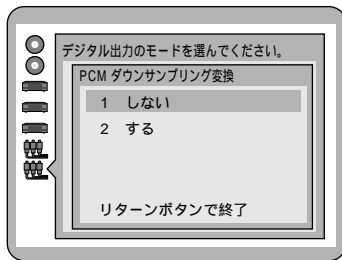
「デジタル出力」の推奨設定について
 接続した機器側のデコーダーに合わせて以下のように設定してください。(下線部：出荷時の設定)

デコーダー	「7 デジタル出力」の設定		
	1 PCM ダウンサンプリング変換	2 Dolby Digital	3 DTS Digital Surround
デジタル端子付オーディオアンプを接続しない場合 (○ 10ページ B)	<u>しない</u>	<u>Bitstream</u>	<u>Off</u>
Dolby Digitalデコーダー (○ 9ページ A)	する	<u>Bitstream</u>	<u>Off</u>
DTS Digital Surroundデコーダー (○ 9ページ A)	する	PCM	Bitstream
Dolby Digital / DTS Digital Surroundデコーダー (○ 9ページ A)	する	<u>Bitstream</u>	Bitstream
デジタル端子付オーディオアンプ (デコーダーなし)(○ 11ページ C)	する	PCM	<u>Off</u>

4 カーソルボタン[▲、▼]を押して

「PCMダウンサンプリング変換」 / 「Dolby Digital」 / 「DTS Digital Surround」の出力を設定する

PCMダウンサンプリング変換



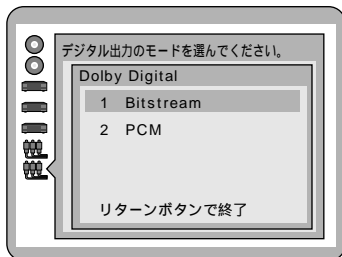
しない
音声出力端子に接続したとき（接続例B）

する
デジタル音声出力端子に接続したとき（接続例A、C）
著作権保護のため、リニアPCM 96 kHzで記録されたDVDは48 kHz / 16 bit以下に制限して出力されます。

お知らせ

接続例Aまたは接続例Cの場合、「しない」に設定すると、リニアPCM96 kHzで記録されたDVDを再生したときに、音声が出力されません。ただし著作権の保護がされていないディスクの場合はそのまま出力されます。
96 kHzで記録されたディスクを再生するときは、Bの接続をし、「PCMダウンサンプリング変換」を「しない」に設定してください。

Dolby Digital



Bitstream
Dolby Digitalデコーダーを内蔵する機器と接続するとき

PCM
Dolby Digitalデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

DTS Digital Surround



Off
DTS Digital Surroundデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

Bitstream
DTS Digital Surroundデコーダーを内蔵する機器と接続するとき

お願い

デコーダーを持たない機器に接続する場合、「Dolby Digital」は「PCM」に、「DTS Digital Surround」は「Off」に必ず設定してください。



接続した機器に合わせて正しく設定しないと、再生時にデジタル音声出力端子から（デコーダーに対応していない）ビットストリームが出力されます。雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

5 [ENTER]を押す

使いかた

デジタル出力の設定

設定を変える

9 エキスパート設定 (特殊な設定)

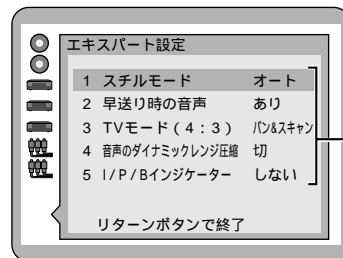
種々の特殊な設定ができます。

- 1 初期設定画面で「9 エキスパート設定」を選ぶ



[ENTER]
を押す

- 2 カーソルボタン[▲、▼]を押して設定したい項目を選ぶ

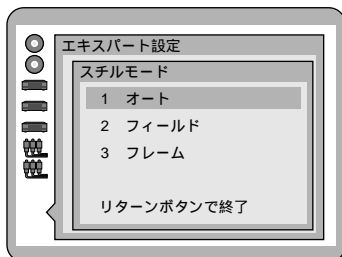


[ENTER]
を押す

- 3 カーソルボタン[▲、▼]を押して項目を変更する

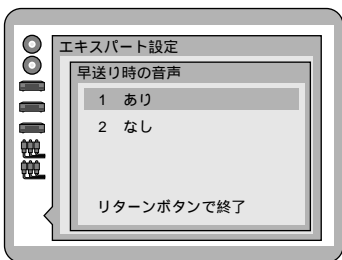
- 1 スチルモード
静止時のモードを選ぶ
- 2 早送り時の音声
早送り1段階目に音声を出すかどうかを選ぶ
- 3 TVモード(4:3)
標準サイズ(4:3)のテレビでワイドソフトを再生するときの画面を選ぶ
- 4 音声のダイナミックレンジ圧縮
小さい音と大きい音の音量差を縮める(ドルビーデジタルで記録されたDVDのみに働きます)
- 5 I/P/Bインジケータ
静止時にDVD画像の種類を表示するかどうかを選ぶ

出荷時の設定



■ スチルモード (○ 42ページ「フレーム/フィールド」)

- 1 オート : フレームで静止するかフィールドで静止するかを自動的に切り換える
- 2 フィールド : 静止時に常にフィールドが表示される(「オート」設定時に、画像のブレが発生するときに選ぶ)
- 3 フレーム : 静止時に常にフレームが表示される(「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選ぶ)

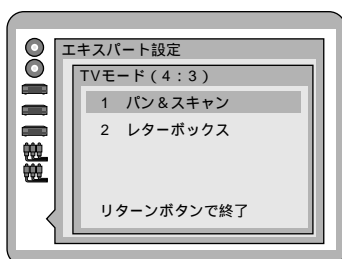


■ 早送り時の音声

- 1 あり
- 2 なし(「あり」に設定して早送り/早戻し時の音が気になるときに選ぶ)

お知らせ

CDの場合は、設定に関係なく早送り/早戻し時にすべての速度で音が出ます。



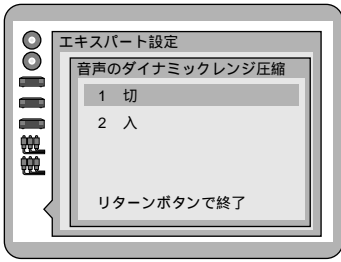
■ TVモード(4:3)

- 1 パン&スキャン : 横縦比が16:9などのワイドソフトを再生したときに両側または片側の切れた画面で再生される
- 2 レターボックス : 横縦比が16:9などのワイドソフトを再生したときに上下に黒帯の入った画面で再生される



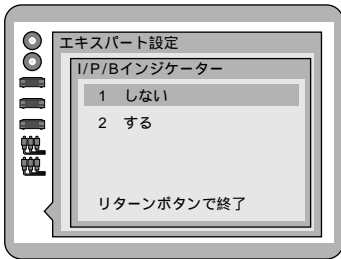
お知らせ

ディスク側であらかじめパン&スキャンやレターボックスの指定がされているときは、ディスク側の設定が優先されます。



■ 音声のダイナミックレンジ圧縮

- 1 切
- 2 入 (機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を縮める)



■ I/P/Bインジケータ

- 1 しない
- 2 する (静止時にDVD画像の種類を画面に表示する)

例) P-pictureのとき



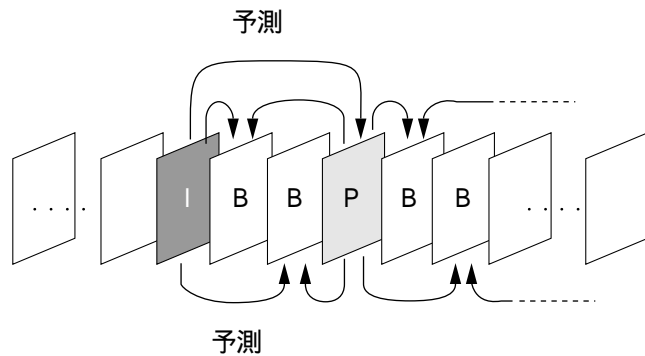
I / P / B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

- I-picture : 共用データの基準として単独で記録されるフレーム
- P-picture : 過去のI-pictureを元につくられるフレーム
- B-picture : I / P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-pictureで静止することをお勧めします。

一般的なピクチャータイプの構成



使いかた

エキスパート設定 (特殊な設定)

初期設定一覧表

再生操作の前にあらかじめ設定しておける内容（初期設定）を一覧表にしています。
詳しくは、28～35ページをご参照ください。（下線部：出荷時の設定）

メニュー項目	設定内容				
1 ディスク言語	音声言語	日本語	英語	オリジナル	その他
	字幕言語	オート	日本語	英語	その他
	メニュー言語	日本語	英語	その他	
2 視聴制限	8 すべて視聴可				
	0 すべて不可～7	ロック解除	暗証番号変更	レベル変更	一時解除
3 画面メニュー言語	日本語				
	English				
4 オンスクリーン	画面メッセージ	入	切		
	色と位置	青色 青色(少し下)	紫色 紫色(少し下)	緑色 緑色(少し下)	
5 FLディマー	常時 明				
	常時 暗				
6 接続するTV	4 : 3				
	16 : 9				
7 デジタル出力	PCM ダウン サンプリング変換	<u>しない</u>	する		
	Dolby Digital	<u>Bitstream</u>	PCM		
	DTS Digital Surround	<u>Off</u>	Bitstream		
9 エキスパート設定	スチルモード	オート	フィールド	フレーム	
	早送り時の音声	あり	なし		
	TVモード(4:3)	<u>パン&スキャン</u>	レターボックス		
	音声のダイナミックレンジ圧縮	切	入		
	I/P/B インジケーター	<u>しない</u>	する		

画面に映し出される映像の横縦比

テレビに映し出される映像や画面モードの名称は、ソフトやテレビによって異なります。ソフトのジャケットやテレビの説明書もご参照ください。

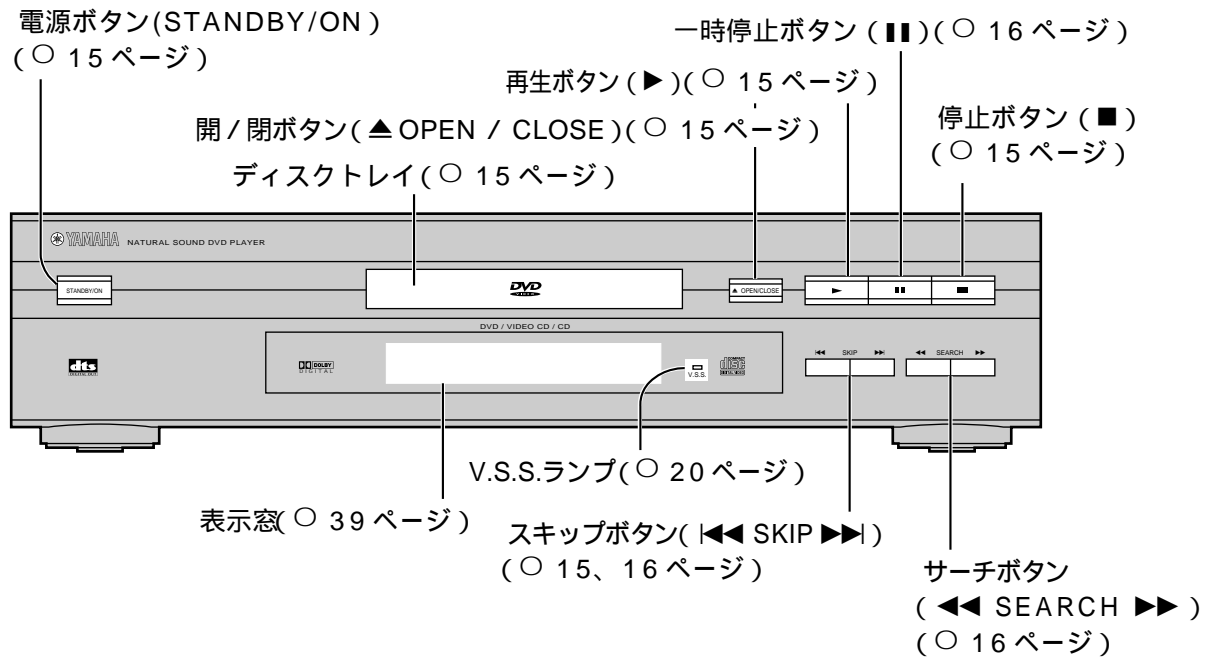
は、ディスクのジャケットに表示されているマークです。

ソフトの種類	接続するテレビ (画面モード)	4 : 3	16 : 9 (フルモード)	16 : 9 (ズームモード)	16 : 9 (オートモード)
ワイドソフト (パン&スキャン指定)  		左右が切れる 	フル画面 	上下が切れる 	フル画面 
ワイドソフト (レターボックス指定)  		レターボックス (上下に黒帯) 	フル画面 	上下が切れる 	フル画面 
4 : 3のソフト  		フル画面 	左右方向に引き伸ばされる 	上下が切れる 	フル画面 (左右に黒帯ができる) 
4 : 3のソフト [レターボックス(上下に黒帯)]  		レターボックス 	左右方向に引き伸ばされる 	フル画面 (黒帯がなくなる) 	画面両端が左右方向に引き伸ばされる 

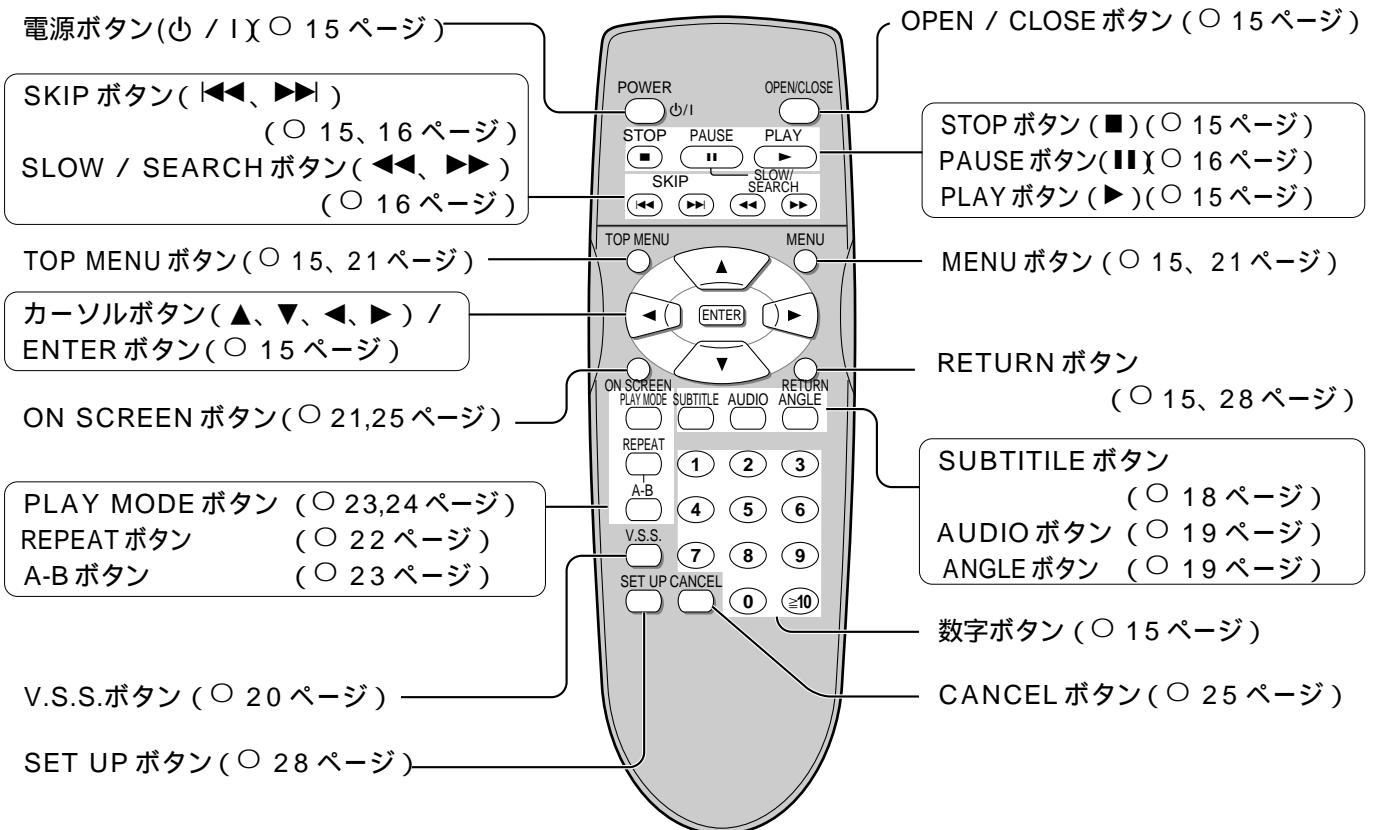
使いかた

各部のなまえ

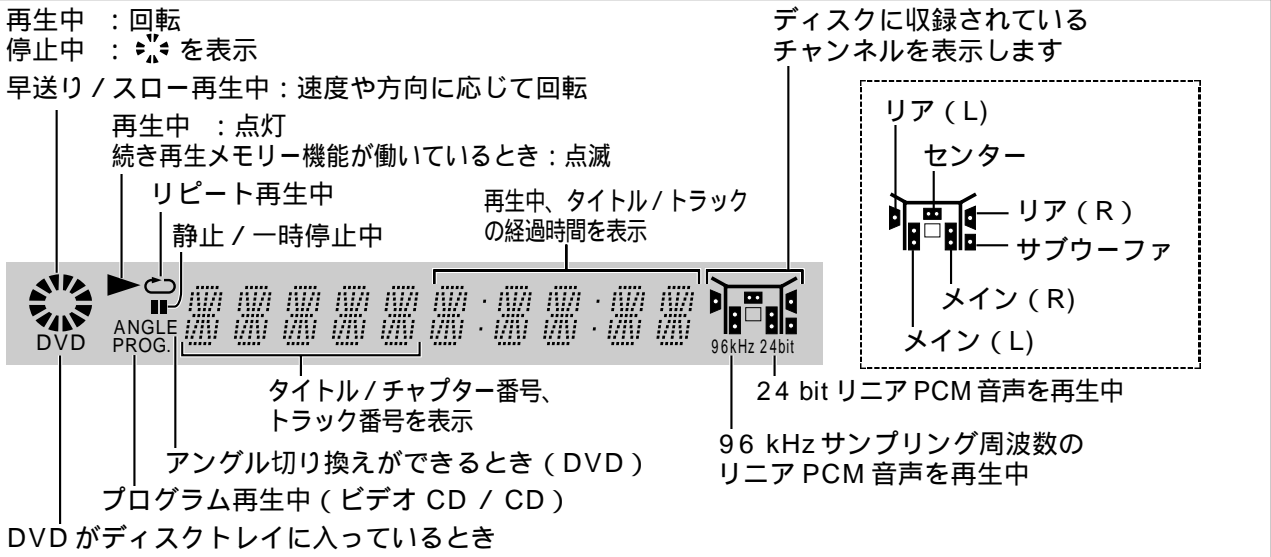
本体



リモコン



表示窓



このようなとき	このような表示が出ます
ディスクが入っていないとき	NO DISC
DVD 再生中	25 1:23:45 <p>チャプター 25 再生中 タイトルの再生経過時間</p>
インタラクティブな DVD 再生中	PLAY <p>タイトル 13 再生中</p>
カラオケ DVD 再生中	T 13 0:17:45 <p>トラック 5 再生中 トラックの再生経過時間</p>
インタラクティブなカラオケ DVD 再生中	T 13 PLAY <p>トラック 5 再生中 トラックの再生経過時間</p>
ビデオ CD 再生中	VCD 5 3:45 <p>トラック 5 再生中 トラックの再生経過時間</p>
プレイバックコントロール付ビデオ CD 再生中	VCD PBC <p>トラック 5 再生中 トラックの再生経過時間</p>
CD 再生中	CD 5 3:45 <p>トラック 5 再生中 トラックの再生経過時間</p>
DTS CD を入れたとき	DTS CD <p>スクロールしたのち総トラック数 / 総演奏時間を表示</p>
トラック番号を予約したとき (プログラム再生)	CD 5 P: 3 <p>トラック 5 を 3 番目に予約したことを示す</p>
再生できないとき	NO PLAY

初期設定「視聴制限」で再生を制限されている DVD (○ 30 ページ)
 リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD
 PAL 方式で記録された DVD / ビデオ CD

ご参考

本体
 リモコン
 表示窓

故障かな!?

次の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	電源が入らない。	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	9
	勝手に電源が切れる。	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートパワーオフ) 再度電源を入れ直してください。	15
リモコン	リモコンが働かない。	乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
ディスクの再生	テレビ画面に\$(禁止)マークが表示される。	ディスクによっては、その操作が禁止されている場合があります。	15
	各ボタン操作ができない。	電源ボタンを一度、「切」「入」してください。(落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。)	—
	PLAY [▶] を押しても、再生が始まらない。 または、すぐに停止する。	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1~2時間放置してください。	—
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください	6
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	7
	映像が映らない。 音声が聞こえない。 音声が聞きづらい。	ラベル面(両面ディスクの場合は、再生したい内容が書かれたラベル面)を上にして、ディスクを正しくセットしてください。	14
		接続を確認し、接続した機器の外部入力を正しく切り換えてください。	8~13
	映像が映らない。 音声が聞こえない。 音声が聞きづらい。	ボリュームを聞きやすい音量に調節してください。	—
お手持ちのテレビに合わせて、初期設定「6 接続するTV」の項目を正しく設定してください。また、テレビ側の画面モードを変更してください。		31、37	
ビデオCDのメニュー再生ができない。	プレイバックコントロール機能付ビデオCD以外は、メニュー再生できません。	17	
音声/字幕/アングル	音声/字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。	—
		音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。	18、19
	字幕が出ない。	字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。	—
		字幕が「切」になっている場合は、字幕を「入」にしてください。	18
アングルを変えて見ることができない。	複数のアングルが記録されていないDVDはアングルを切り換えることができません。また、複数のアングルは特定の場面(再生中なら表示窓に「ANGLE」が点灯)のみ記録されているものがあります。	—	
V.S.S.	V.S.S.2 が働いているとき、音がひずむ。	ディスクによって音声がひずむことがあります。その場合はV.S.S.を「OFF」(解除)にしてください。	20、27

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
カラオケ	ボーカルが「切」にならない。	ボーカルが記録されている音声チャンネルが選ばれています。ディスクのジャケットを確認して、適切な音声チャンネルを選んでください。	19
	DVD のカラオケソフト再生中にボーカルが出ない。	機器を本機のデジタル音声出力端子に接続している場合は、初期設定「7 デジタル出力」で、「2 Dolby Digital」を「PCM」に設定してください。	19、32-33
	カラオケソフトを再生したら、1 曲ずつメニュー画面に戻る。	カラオケソフトのほとんどは、選んだ曲が終わるとメニュー画面に戻るように制作されています。メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合、その項目を選ぶと、全曲が再生されます。	19
アンプとの接続	特定のスピーカーから音が出ない。または、耳を刺激するような音が出る。	接続を確認してください。	8 ~ 11
		機器を本機のデジタル音声出力端子に接続している場合は、初期設定「7 デジタル出力」で、接続した機器に応じて「2 Dolby Digital」または「3 DTS Digital Surround」を正しく設定してください。	32
		V.S.S.機能を「切」(OFF) に設定してください。	20
視聴制限	PLAY [▶] を押しても、以下のメッセージが表示され、再生が始まらない。「再生できません。ディスクを取り出して、視聴制限設定を変えてください。」	初期設定「2 視聴制限」の設定を変更してください。	30
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。初期設定のすべての項目を、工場出荷時設定に戻したい。	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 1 停止中、本体の[■]と[◀◀]を押しながら 2 本体の[▲]を 3 秒以上押す (テレビ画面の「オールクリア」が消えたことを確認してください。) 3 テレビの電源を「切」「入」する	—
表示について	表示窓に「NO PLAY」と表示する。	再生できないディスクが入っています。	6
	画面メッセージが出ない。	初期設定「4 オンスクリーン」の「1 画面メッセージ」を「入」にしてください。	31
	GUI 画面が欠ける。(または表示されない。)	初期設定「4 オンスクリーン」の「2 色と位置」で GUI 画面の位置を変更してください。	31
	画面に「ディスクを確認してください」と表示する。	ディスクがよごれています。 (処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください。)	7
	表示窓にサービス番号「H」が表示される。(は数字)	異常が発生しました。「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります。) 電源を一度、「切」「入」してください。 (処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください。)	—

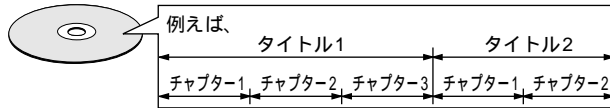
処置をされても「サービス番号」を表示するときは
お買い上げの販売店またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点に修理をご依頼ください。

修理を依頼されるときは
表示窓のサービス番号をお知らせください。
(例)「H01」と表示しているときは、「サービス番号、H01」とお知らせください!

用語解説

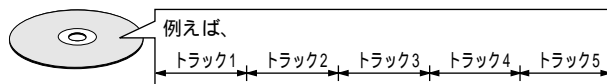
タイトル、チャプター (DVD)

DVDは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。



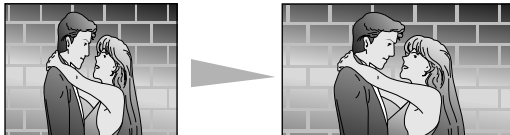
トラック (ビデオCD/CD)

ビデオCDやCDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。



S1 映像信号

S1 映像出力端子からは、S1 映像信号が出力されます。S1 映像入力端子を持った、画面の横縦比が16:9のテレビに接続した場合、4:3に圧縮して記録されたワイドソフトを自動的に16:9のワイドサイズで表示します。



光デジタル音声出力端子

電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電氣的な影響による雑音を防ぐことができます。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

チャンネル (ch)

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。

例) 5.1チャンネル

メインスピーカー [L (1ch) / R (1ch)]

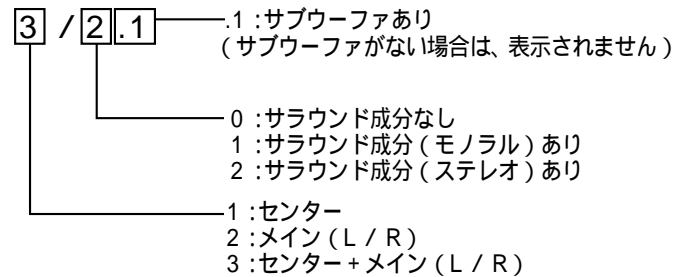
センタースピーカー (1ch)

リアスピーカー [L (1ch) / R (1ch)]

サブウーファ [1ch x 0.1 = 0.1ch]

出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面では以下のように示されます。



リニアPCM

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1 kHz / 16 bitで記録されているのに対し、DVDでは48 kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bitで記録されていますので、CDよりも高音質での再生が可能です。

本機では、デジタル音声出力端子からのリニアPCM音声は常に2chで出力されます。

Bitstream (ビットストリーム)

圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。デコーダーにより、5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード(復号)されます。

ドルビープロロジック

4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により、再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

Dolby Digital (ドルビーデジタル)

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2ch)はもちろん、独立した最大5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS Digital surround (ディーティーエス デジタルサラウンド)

多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	10 W (電源「スタンバイ」時 約2 W)
信号形式	NTSC
質量	3.3 kg
外形寸法	435 (幅) × 276 (奥行) × 99 (高さ) mm、
許容周囲温度	+5 ~ 35
許容相対湿度	5 ~ 90 % RH (結露なきこと)
対応ディスク	(1) DVD - Video ディスク 12 cm 片面1層 12 cm 片面2層 12 cm 両面 (各面1層) 8 cm 片面1層 8 cm 片面2層 8 cm 両面 (各面1層) (2) コンパクトディスク (CD - DA、VIDEO CD) 12 cm ディスク 8 cm ディスク
コンポーネント映像出力	Y出力レベル : 1 Vp-p (75) C _B 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) C _R 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック (Y:緑、C _B :青、C _R :赤)
S映像出力	Y出力レベル : 1 Vp-p (75) C出力レベル : 0.286 Vp-p (75) 出力端子 : S端子 端子数 : 1系統
映像出力	出力レベル : 1 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック 端子数 : 1系統
音声出力	出力レベル : 2 Vrms (1 kHz、0 dB) 出力端子 : ピンジャック 端子数 : 5.1ch ミックス出力 (2ch) : 1系統
音声出力特性	(1) 周波数特性 DVD (リニア音声) 2 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプリング) 2 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプリング) CD 2 Hz ~ 20 kHz (EIAJ) (2) S / N 比 CD 115 dB (EIAJ) (3) ダイナミックレンジ DVD (リニア音声) 102 dB CD 98 dB (EIAJ) (4) 全高調波歪率 CD 0.0025 % (EIAJ)
デジタル音声出力	出力端子 : 光デジタル出力 : 光コネクター

本製品のデザイン、仕様は改善等のため予告なしに変更することがあります。
本書は改善のため予告なしに変更することがあります。

本機は日本国内専用です。
海外では、放送方法、電源電圧が異なるため使用できません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です



音のエチケット
シンボルマーク



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を未永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機リアパネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内
TEL (087) 822 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様ご相談センター

TEL (03) 5488 - 5500

〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV国内営業部 TEL (053) 460 - 3451
AV・IT品質保証部 TEL (053) 460 - 3405
住所および電話番号は変更になることがあります。